

会 報

# Ayogo

7

2015

July

No. 553



田園の初夏



兵庫県土地家屋調査士会

## 目 次

### 特 集

会長就任あいさつ	1
神戸地方法務局局長祝辞	2
日本土地家屋調査士会連合会会長祝辞	4
副会長就任あいさつ	5
第74回定時総会	8

### 報 告

平成26年度第3回業務研修会	11
境界問題相談センター関与構成員研修会 「調停における臨床力」	12
平成27年度測量研修会	13
連合会第72回定時総会トピックス	16
姫路支部 平成26年度FMラジオ	18

### トピックス

理事会トピックス	19
本会組織図	22
本会役員、各部・各委員会構成メンバー一覧	23
支部のページ	
支部長就任あいさつ	24
政治連盟だより	30
つれづれなるままに「そこはかたなく書きつくれば」	32
私の事件簿シリーズ「財産区」	33
「思いつくままに」	34
「鈴鹿8時間エンデューロ挑戦記」	35
樋口先生 今までありがとう	37
部会・委員会報告	38

### 会員の動向

会員の動向	43
新入会員アンケート	47
編集後記	49
第13回会報Hyogolに参加してプレゼントを当てよう!!	51

#### 表紙写真

「田園の初夏」  
撮影場所：加東市

裏表紙  
「日本一」  
撮影場所：駿河湾沼津SA

阪神支部  
宮川 王音会員

## 会長就任挨拶



兵庫県土地家屋調査士会  
会長 岸本 八太郎

### (はじめに)

第74回定時総会において、会長に再任されました岸本八太郎です。

私は2年前に、土地家屋調査士制度は時代に沿った制度でなければならないと考えて会長に立候補しました。土地家屋調査士は、有する専門能力が時代によって変化し、今後も、社会から必要とされると考えているからであります。そのためには土地家屋調査士が時代変化に即応し、その時代に必要とされる専門的知見を身につけておくことは最低条件であります。

### (地図づくり)

近年、全国的な異常気象、地震などによる災害が発生しています。災害は発生が予想できないため常に備えを行う必要があります。大規模災害において、その被害を最小限に食い止める減災への取り組みとしての地図づくりが必要です。また、平成の地籍整備事業が数年前から始まっており、各市町で地籍調査業務が発注されています。この測量成果が、法務局に地図として備え付けられることとなります。正確な地図を作るためにも私たち土地家屋調査士の関与が必要です。今後も地図づくりに土地家屋調査士が関与できるよう、関係機関に働きかけを行っていきます。

### (裁判手続きでの活用)

全国50の単位会すべてにADRセンターが設立されました。土地家屋調査士のさらなるステップアップとして裁判手続きでの土地家屋調査士の活用を求めていきます。

鑑定人はむろんのこと、民事、家事を問わない調停員、裁判手続きでの専門委員としての活用を神戸地方裁

判所、家庭裁判所に対して求めてまいります。

### (空き家対策)

昨年11月に空き家対策特別措置法が制定されました。参議院では付帯決議により、隣接所有者との境界紛争を未然に防止するため、空き家を取り壊し、更地にする際には事前に空き家が所在する土地の境界を明確にすることが義務付けられています。これはまさに境界の専門家である土地家屋調査士が関与すべき業務であり、今後、関係機関に対して土地家屋調査士の活用を求めてまいります。

### (会員研修の充実)

土地家屋調査士の社会的な地位の向上を目指すためにも、土地家屋調査士、一人一人の技術の向上、法律知識の向上が不可欠であり、そのための研修充実を図ってまいります。

### (おわりに)

私は、これまで本会に役員として10年に亘って携わってまいりました。今まで一貫して、土地家屋調査士は社会にとって必要な資格であり、そのためには社会的地位の向上が必要であると考え活動を行ってまいりました。この2年間を集大成に位置付け、これからの土地家屋調査士の道づくりに役立っていけるよう頑張っていきますので、会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げ会長就任の挨拶といたします。

## 祝 辞



神戸地方法務局  
局長 田 邊 豊

本日、兵庫県土地家屋調査士会定時総会が、盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。

兵庫県土地家屋調査士会並びに会員の皆様方には、平素から、表示登記に関わる法務局業務の円滑な遂行に格別の御理解と御協力を賜り、この場をお借りしまして、改めて深謝いたします。

土地家屋調査士制度は、発足から65年の歴史を有しており、その間、使命である不動産に係る国民の権利の明確化に大きく貢献してまいりました。これも、ひとえに会員の皆様方の熱意と献身的な御尽力の賜物であり、心から敬意を表するものであります。

さらに、先ほどは、本総会の間をお借りして、多年にわたり土地家屋調査士として、法務行政の円滑な推進に多大な功績のありました方に対しまして、表彰をさせていただきました。受賞された皆様方の今日までの御苦勞と御努力に対し、敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。今後とも、御健勝で、より一層の御活躍を祈念いたします。

さて、我が国の経済情勢は、現政権がアベノミクスと呼ばれる経済財政政策を推進しているものの、依然、先行きの不透明な状況が続いているところです。

そのような中、政府は、昨年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2014」及び「日本再興戦略・改訂2014」において、土地取引の活性化、公共事業の円滑化等を図るという観点から、登記所備付地図の整備が盛り込まれ、その重要性が広く認識されてきたところであります。

このような状況を踏まえた上で、当局の施策等のうち、若干の事項につきまして、申し述べさせていただきます。

まず、登記所備付地図作成作業についてであります。平成15年6月、「民活と各省連携による地籍整備の

推進」、いわゆる「平成地籍整備」と呼ばれる政府方針が示されたことを受けて、法務省では、都市部における登記所備付地図の作成作業を推進してきたところ です。

これに加えて、昨年6月、地籍整備の推進が改めて閣議決定されたことから、法務省では、地図作成作業を更に強力で推し進めるべく、第2次10か年計画を策定し、実施面積を拡大して取り組むほか、権利関係が複雑し、地権者の利害対立も激しいことから地図整備が遅れている大都市の地域を対象として、大都市型登記所備付地図作成作業10か年計画を策定し、本年度から取り組むこととしています。

法務省の計画を受け、当局におきましては、本年度、従来型の登記所備付地図作成作業として、神戸市北区東大池二丁目及び同区西大池一丁目において2年目作業を実施し、神戸市北区東大池一丁目、同三丁目及び同区西大池二丁目において1年目作業を実施するほか、大都市型として、神戸市東灘区魚崎南町四丁目、同五丁目において1年目作業を実施することとしております。地図作成作業の実施につきまして、会員の皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、筆界特定制度についてであります。

司法制度改革の一環として、平成18年1月20日に施行された筆界特定制度は、発足から9年余りが経過し、制度が定着するとともに、相応の利用実績が挙がってきております。その間、当局における筆界特定の件数は、常に全国で3番目以内の高水準で推移しており、平成26年におきましては、98申請、174手続にも上る申請を受け付けているところです。

このような状況の下、多くの筆界調査委員を送り出していただいております貴会の御協力に対しまして、

厚く御礼を申し上げるとともに、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、日本土地家屋調査士会連合会におかれましては、「境界紛争ゼロ宣言」のスローガンを掲げ、土地境界の専門家としての土地家屋調査士の役割を広報する一方、貴会におかれましては、筆界特定制度と併せて、「境界問題相談センターひょうご」による境界紛争の解決に取り組まれているところです。

今後も、土地境界の専門家として土地家屋調査士制度を広くPRするとともに、長年にわたって積み重ねられた豊富な知見と経験を活かして、境界に関する問題の解決に寄与されることを期待しております。

次に、登記オンライン申請の利用拡大についてであります。

政府は、昨年6月、「世界最先端IT創造宣言」を閣議決定するなど、世界最高水準のIT利活用社会の実現を目指しており、これを受けて、法務局では、登記事務のオンライン申請の利用拡大に取り組んでいるところです。当局におきましても、オンライン申請の利用拡大に取り組んでまいりましたが、誠に遺憾ながら、当局のオンライン申請の利用状況は、全国的に極めて低い水準にあります。

そのような中、オンライン申請の利用促進と事務処理の効率化を図るため、本年6月1日から、資格者代理人によるオンライン表示登記申請を対象として、法定外添付情報の原本提示を省略する取扱いを開始することになりました。

オンライン申請が広く普及することは、国民の利便性が向上するだけでなく、土地家屋調査士制度の充実・発展に大きく寄与することにもつながることから、貴会との連携をより強化して、オンライン申請の利用拡大を図る所存でありますので、オンライン申請の利用につきまして、引き続き、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

当局といたしましては、表示登記に関する事務処理や筆界特定事件の事務処理を適正・円滑に遂行するため、貴会との連携を深めるとともに、土地家屋調査士制度の充実・発展に向けて、更に努力を重ねてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、兵庫県土地家屋調査士会のますますの御発展と、会員及び御来賓の皆様方の御健勝・御活躍をお祈り申し上げまして、私の祝辞とさせていただきます。

## 祝 辞



日本土地家屋調査士会連合会  
会長 林 千年

本日ここに、神戸地方法務局長を始め、多くのご来賓をお迎えし、兵庫県土地家屋調査士会平成二十七年度定時総会が盛会に開催されましたことに、まずもってお慶びとお祝いを申し上げます。

また、日頃から会長を初めとして、役員の皆様、そして、会員の皆様には、日本土地家屋調査士会連合会の会務運営につきまして、ご理解・ご協力をいただいておりますこと誠に心強く感謝申し上げます。

早いもので、本執行部も、二年が経過しようとしていますが、事業方針大綱を基本に活動を重ね、概ね所期の目標を達成できたと考えております。この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

去年は、平成六年に長野県松本市で開催された全国土地家屋調査士松本大会から、ちょうど二十年を迎えた年でありましたが、その節目となる年に、同大会で建立した「土地家屋調査士制度発祥の地」碑の移設を行いました。この度の移設は、より一層の土地家屋調査士制度の啓発に資する場所に移すことを目的としたものです。

同松本大会では、全国に向けて「松本宣言」を発信しましたが、その中で、地図整備の早期実現に全力を挙げて取り組むことが謳われております。

現在においても、地図整備は、土地家屋調査士業務の基幹であり、国が経済成長の施策を更に進めるために必要な事業であることには変わりはありません。

平成二十六年度における大きな事業方針は、「境界紛争ゼロ宣言!!」の発信と「地図作りへの参画強化」でしたが、これらは、土地家屋調査士が「土地境界の専門家として国民の皆様から完全な認知を得る」という大きな目標につながるものです。

昨年十一月十四日に開催した「二〇一四日調連公開シンポジウム『土地境界紛争が起きない社会』」では、日本社会の現状と将来の動向を踏まえて、土地境界の専門家である私たちが果たす役割を「境界紛争ゼロ宣言!!」として社会に発信しました。

そのわずか五日後の、十九日に成立した「空家等対策の推進に関する特別措置法」において、「隣地所有者との土地の境界紛争を未然に防止するとともに跡地の利活用の推進を図る観点から、空家を取り壊し更地にする際には、事前に空家が所在する土地の境界を明確にする手続きを設けることについて、必要な検討を行うこと」との附帯決議が採択されましたが、これは、「境界紛争ゼロ宣言!!」のスローガンに咲いた初めての花であり、実であるとも思っています。この附帯決議を担えるのは、私たち土地家屋調査士以外にないと考えています。

また、従前から要望を続けてきたオンラインによる不動産の表示に関する登記の申請における法定外添付情報の原本提示を不要とする取扱いについては、各府省情報化統括責任者連絡会議が決定した「オンライン手続の利便性向上に向けた改善方針」に基づき、法務省民事局民事第二課との協議を重ねてきたところ、来月一日から実施されることとなりました。これは、終着点ではなく、完全オンライン化へのスタートであり、今後も、完全オンライン化の実現に向け、具体的方策に関する協議を継続して参ります。

このように、私たちが要望してきたことが、少しずつ実現してきておりますが、これらの要望は、最終的に、国民の利便につながるものと考えております。これからも、全国土地家屋調査士政治連盟とも連携・協力しながら、積極的に活動していく所存であります。

今年は、土地家屋調査士制度制定六十五周年に当たります。今後も、連合会は、土地家屋調査士制度の充実・発展に向けて全力で取り組み、役員一丸となって邁進する覚悟でおります。

兵庫県土地家屋調査士会並びに会員諸兄の一層のご理解とご提言を賜りたくお願い申し上げます。

結びに当たり、本日ご列席の皆様のご健勝と兵庫県土地家屋調査士会の益々のご発展を祈念し、お祝いのことばといたします。

## 副会長就任あいさつ



副会長  
橋 詰 繁 美

平成27年5月27日第74回定時総会において、前期に引き続き、副会長に選任され、会長選挙後の責任の重さを痛感しております。

常任理事（業務部長及び副会長代行）の一期、そして前期（副会長）と合わせ、今回は、三期目の本会役員であります。

この度、副会長としての職務分掌は総務部・財務部を担当致します。

前期は業務部・研修部・技術対策委員会担当で、近畿ブロック業務部会長、オンライン登記申請促進組織近畿ブロック統括責任者（？）という、想定外の役までやらせて頂き、大阪管区の問題点、境界鑑定講座開催の企画等を含め、大変勉強になりました。

ただ、担当副会長としては、何事もなく無事平穩に終わったことが何か物足りなく、なぜか、皆様の期待に応えていないような気が致しております。

さて今期、総務部、財務部の副会長として、これから2年間会務を遂行してゆくわけでございますが、なにぶんにも初めての経験で、業務部以外の会務は、やったことが無く、毎日会員必携を読んで勉強している状態であります。

会員の皆様の要望、期待にどこまで応えられるかわかりませんが、総務部長・財務部長と共に事業計画、予算にのっとり会務を遂行し会長を支え頑張りたいと思います。

私自身、還暦も何年前に過ぎ、正直言えばあらゆる役から外れ、残り人生をゆっくりとしたい歳ではありますが、これも人生と言ひ聞かせ、あと一期、会長の基本方針をしっかりと補佐していく所存でございます。

最後になりましたが、これから2年間、会員の皆様方の厚いご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



副会長  
安 居 正 彦

第74回定時総会において二期目の副会長に選任されました。業務部、研修部、技術対策委員会を担当させていただきます。

今回は総務部、財務部、苦情処理委員会を担当させていただきます。まずは会員皆様のご理解、ご協力により2年間の会務運営ができましたことに御礼申し上げます。

日本経済は好景気に向かっていると報道等で囁かれています。土地家屋調査士を取り巻く環境はさほど変わっていないと感じます。兵庫会だけで打開できる問題ではありませんが、会員皆様に好景気を実感していただける一助になればとの思いです。

本年度の土地家屋調査士業務に係る事業計画は引続き、地図づくりとして地籍調査、法14条地図作成への参画強化、土地家屋調査士の活用として裁判所における鑑定人、調停員としての業務の拡大を目指した働きかけ、市町に対しては、空家等対策の推進に関する特別措置法成立を受け、隣接地との境界紛争を未然に防ぐ目的での境界標の設置を働きかけることとしていきます。

関係部署には積極且つ、素早い行動、会員皆様には研修等を通じての専門家として能力担保の確保が不可欠と思います。すぐに結果が出る事業ではないかもしれませんが、着実に前進し実現できるよう取り組んでまいります。

過去2年の経験と反省を踏まえ、兵庫会に明るい未来が到来するよう尽力させていただきますので、引き続き会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

## 副会長就任あいさつ



副会長  
三嶋 裕之

このたび、副会長に選任いただきました、神戸支部の三嶋裕之です。担当部署は、広報部、社会事業部です。そこで就任のあいさつを兼ねまして、各部の抱負を述べます。

まず、広報ですが、会長の所信にもありましたとおり、次世代に向けた広報活動をテーマに、近年の土地家屋調査士試験の受験者減少対策に、主に次世代の担い手である若年層への制度広報として、会員事務所でのインターンシップ学生受入れ、近畿ブロックにおける大学での寄付講座、その他支部による「おやじ塾」等の活動をより広い地域で行う枠組みの構築も検討し、長期にわたる広報計画の策定を目指します。

また、広報誌は会員の方々に読んでもらわないといけないので、専門家広報誌らしく、研究事項や各省、市町等との協議内容等、兵庫会独自の実務書的な要素を含め、更なる充実を目指します。

次に社会事業部ですが、これも会長の所信にあった「地図づくり」への参画です。すでに皆様も御承知のとおり、数年前から平成の地籍の大整備として、各市で毎年地籍調査業務が発注されております。残念ながら、ほとんどの業務は競争入札の中、地籍調査を専門にした測量コンサルが受注しております。この牙城はなかなか強固であり、簡単なことではありませんが、地籍調査した結果が法務局に備え付けされ、14条地図になることを考えてみれば、必ず土地家屋調査士が関与する必要があります。言うまでもなく14条地図は表示に関する登記に関連する事がらであって、本来ならすべて私たちが行なわなければならないことであることを、しつこく市町村に訴えかけ、すべての「地図づくり」に土地家屋調査士が関与することを目指します。

また、裁判手続における土地家屋調査士の活用として、今、全国の単位会すべてでADRセンターを立ち上げて運営しています。それは、境界紛争を解決する専門家調停センターを運営することによって、国民の悩みを聞き、頼られ、信頼されることにより、この種の問題の拠り所となることが、私たちの社会貢献の一

つと考えるからであります。そして、センターひょうごも設立して10年が経ち、兵庫県における境界に関する相談が各市町等であった場合でも、すべてセンターを紹介していただくシステムを構築してきました。これらの信頼を勝ち取った今、更なる可能性として、従来の鑑定人等の活用は勿論のこと、私たちの見識を活かした民事家事を問わない調停員、土地家屋調査士としての豊富な知見を活かした裁判における専門委員として関与することを目指します。

また、近年増加傾向にあった空き家に対し特別措置法が成立しました。そして、この法律の参議院の付帯決議に、空き家を取り壊した後は境界を明確にしましょうと言った文言が入りました。しかし、境界を確認することは、大変なことであって、少なくとも簡単に覆されてはなりません。そのためには、様々な資料を調査したり、測量技術も必要となり、私たちが助言する、または、関与する必要があります。また、空き家に関しては、所有者がわからないといったことや、未登記の建物、接道の問題で再建築不可なもの、調整区域の既存宅地の問題等、私たちは直接の専門家でないかもしれませんが、トータル的な知識を有した唯一の専門家と言えるはずで、高度成長期以降増え始めた一軒家、そのすべての登記を私たちが行なってきたことを考えると、その火消し役も私たちが関わることは当然なことかも知れません。そして、法律が制定して間もない今だからこそ、各市町に働きかけをし、関与することを目指します。

以上のとおり抱負を述べてまいりましたが、私たちを取り巻く情勢はこの数年かなり変化しております。本会もそれを見越して全力を注いで活動をして来ました。まだまだ沢山の取り組み課題がありますが、理事の方々を中心に、会長の所信も踏まえ、土地家屋調査士が培った技術力と、経験や知識で社会に貢献し、その勝ち取った信頼で、豊かな生活を構築することを目的に、微力ではございますが努力していきますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 副会長就任あいさつ



副会長  
境界問題相談センターひょうご  
センター長  
中井 富子

第74 回定時総会において副会長に選任されました中井でございます。境界問題相談センターひょうごを担当させていただきます。

これまで社会事業部長を2期務めさせていただき、会長の基本方針のもと「地図づくり」「地籍調査事業・法14条地図作成作業への参画」そして「裁判制度での調査士の活用」を目指し、土地家屋調査士の生き残る道、新しい職域を探して、土地家屋調査士の社会貢献を押し進めるべく様々な活動をして参りました。

この4年間の経験を活かし、境界問題相談センターひょうごにおいて、筆界の専門家である土地家屋調査士と弁護士が協力することによって、境界問題に対し高いスキルが利用していただけることを訴え、土地(財産)を守り次代に確実に引き継ぐために、センターひょうごを活用していただけるように活動することが

我々土地家屋調査士の社会的責任を果たすことなのだ、土地境界の唯一の専門家であることを知らしめることが社会的使命なのだと捉え努力することによって、社会においてもっと土地家屋調査士の重要性が認識されるように微力ながら努めてまいります。

運営委員、推進委員と共に協力して職務を全うしたいと思っています。会員の皆様方のご協力、ご指導そしてご支援をお願いいたします。

## 暑中お見舞い申し上げます

平成27年 盛夏



事 務 局	名 誉 会 長	淡 路 支 部 長	東 播 支 部 長	但 馬 支 部 長	西 播 支 部 長	明 石 支 部 長	加 古 川 支 部 長	姫 路 支 部 長	尼 崎 支 部 長	伊 丹 支 部 長	阪 神 支 部 長	神 戸 支 部 長	網 紀 委 員	監 事	理 事	副 会 長	副 会 長	副 会 長	副 会 長	会 長
一 同	江 本 敏 彦	長 濱 宏 樹	甲 山 正 則	大 森 良 明	坂 本 喜 則	阪 尾 雅 由	中 西 勉 剛	山 本 孝 之	八 尾 野 繁 樹	筧 昌 克	祝 昌 克	樋 口 敦 仁	一 同	一 同	一 同	中 井 富 子	三 嶋 裕 之	安 居 正 彦	橋 詰 繁 美	岸 本 八 太 郎

平成27年

# 第74回 定時総会



さる5月27日（水）午後12時30分からANAクラウンプラザホテル神戸において平成27年第74回定時総会が開催された。

総会は、神戸支部大平会員の司会により橋詰副会長の開会宣言がされ、岸本会長から挨拶がなされた。

全ての議案は賛成多数により承認されたが、その中で第2号議案、「役員等選任の件」においては会長選挙が行われ、候補者の所信表明の後、直接選挙が行われた。

新役員名簿等は23ページに掲載しております。

## 議 事



当日出席会員 242名 委任状出席会員 256名  
議長には加古川支部新田徹会員、副議長に阪神支部宮嶋明会員が選任され、安居副会長及び各部長、委員長による事業報告並びに会務報告が行われた後、第1号議案から第5号議案が審議された。

- 第1号議案 平成26年度収支決算報告書承認の件
- 第2号議案 役員等選任の件
- 第3号議案 特別会費規則一部改正（案）審議の件
- 第4号議案 平成27年度事業計画（案）審議の件
- 第5号議案 平成27年度収支予算（案）審議の件

## 式 典

議事に引続き、式典が行われ、神戸地方法務局長表彰はじめ各表彰、多数のご来賓からの祝辞が述べられた後、安居副会長の閉会の辞により、華やかな内に総会は終了した。

### ❖ご臨席いただいた来賓

神戸地方法務局	局 長	田邊 豊 様
同	総務課長	鈴木 和男 様
同	庶務係長	陰山 卓也 様
兵庫県	副知事	吉本 知之 様
日本土地家屋調査士会連合会		
	会 長	林 千年 様
兵庫県司法書士会	会 長	蔭山 倫理 様
兵庫県弁護士会	副 会 長	吉田 裕樹 様
兵庫県行政書士会	副 会 長	大口 晋 様
近畿税理士会神戸支部		
	副支部長	大野 秀朋 様
兵庫県不動産鑑定士協会		
	副 会 長	多田 敏章 様
兵庫県社会保険労務士会		
	常任理事	牧山 浩之 様

日本公認会計士協会兵庫会

事業部長 遠藤 眞廣 様

兵庫県建築士事務所協会

常務理事 渥美 充弘 様

兵庫県宅地建物取引業協会

専務理事 川北 政廣 様

顧問

衆議院議員 西村 康稔 様

代理 奥澤 高広 様

同

衆議院議員 盛山 正仁 様

代理 谷口 宜弘 様

同

衆議院議員 赤羽 一嘉 様

代理 尾園 久明 様

同

衆議院議員 松本 剛明 様

代理 寺谷 道博 様

同

参議院議員 鴻池 祥肇 様

代理 菊川 義浩 様

同

参議院議員 末松 信介 様

代理 中西 誠 様

同

県議会議員 加田 裕之 様

同

県議会議員 黒川 治 様

同

県議会議員 野口 裕 様

兵庫県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

理事長 堀 次夫 様

兵庫県土地家屋調査士政治連盟

会長 津村 章浩 様

❖来賓祝辞

次のご来賓の方々からご祝辞をいただきました。

神戸地方法務局 局長 田邊 豊 様

兵庫県 知事 井戸 敏三 様

代読 副知事 吉本 知之 様

日本土地家屋調査士会連合会

会長 林 千年 様

兵庫県司法書士会 会長 蔭山 倫理 様

❖祝電披露 (順不同)

兵庫県行政書士会 会長 村山 豪彦 様

兵庫県社会保険労務士会

会長 田中 道弘 様

兵庫県建築士事務所協会

会長 山本康一郎 様

兵庫県宅地建物取引業協会

会長 山端 和幸 様

近畿ブロック協議会

会長 杉本 哲也 様

顧問 衆議院議員 西村 康稔 様

同 衆議院議員 盛山 正仁 様

同 衆議院議員 松本 剛明 様

同 参議院議員 鴻池 祥肇 様

同 参議院議員 末松 信介 様

同 県議会議員 黒川 治 様

❖表彰式

神戸地方法務局局長表彰

白井 孝文 (伊丹) 大野 保 (神戸)

岸部 勇 (但馬) 正心 章 (神戸)

原田 固 (淡路) 堀 次夫 (西播)

日本土地家屋調査士会連合会会長表彰

阪田 哲彦 (神戸) 高瀬 義廣 (東播)

徳田 義一 (明石) 橋詰 繁美 (尼崎)

山口 昌志 (淡路)

兵庫県土地家屋調査士会会長表彰

坂田 秀和 (姫路) 坂本 真一 (加古川)

佐藤 秀重 (神戸) 佐野 一彰 (神戸)

芝田 勝廣 (阪神) 田中 琢磨 (東播)

手操 秀樹 (西播) 戸田 清志 (明石)

長澤 典永 (伊丹) 藤本新太郎 (但馬)

鷺尾 庄司 (神戸)

**永年在籍長寿御祝**

田中 俊彦 (西播)                      宮本 博司 (阪神)  
吉田 清司 (神戸)

**社会事業部員**

安西 輝貢 (神戸)                      阪本 晃一 (阪神)  
福山 貴弘 (伊丹)                      岩見健次郎 (姫路)  
藤林 憲 (加古川)

**日本土地家屋調査士会連合会会長表彰状受賞**

(日本土地家屋調査士会連合会顕彰規程第6条)

竹森 万梨 (事務局職員)

業務・広報・研修・社会事業各部員、技術対策委員  
に記念品が贈呈された。

**技術対策委員**

**委員長**

高見 忠良 (東播)

**副委員長**

石塚 利之 (但馬)

**委員**

西村 隆幸 (神戸)                      前田 博行 (神戸)  
荻田 雅仁 (伊丹)                      稲澤 公義 (姫路)  
大西 理 (加古川)                      水田 直樹 (明石)  
岸本 有宏 (淡路)

**業務部員**

志積 功嗣 (神戸)                      山根 淳弘 (阪神)  
福岡 信隆 (伊丹)                      和田 利明 (尼崎)  
山本 剛 (姫路)                          坂本 真一 (加古川)  
鬼頭 一伸 (明石)                      小部 英樹 (西播)  
田中 光夫 (但馬)                      井上 勝彦 (東播)  
福本 敬視 (淡路)

**広報部員**

大野 信之 (神戸)                      宮川 王音 (阪神)  
篁 繁樹 (伊丹)                          小池 一公 (姫路)  
橋詰 辰雄 (加古川)                      中山 敬一 (明石)  
佐古井 守 (西播)                      池口 千春 (但馬)  
村上 由佳 (東播)                      長濱 宏樹 (淡路)

**研修部員**

部屋 昇壮 (神戸)                      藤井 裕一 (姫路)  
吉良 朋浩 (但馬)                      山崎 茂樹 (淡路)

**懇親会**

総会終了後に開催された懇親会では、神戸支部軽音楽同好会によるバンド演奏が行われました。



平成26年度

## 第3回 業 務 研 修 会

日 時：平成27年2月18日(金) 13時50分～

場 所：神戸市産業振興センター 3階ホール

### 内容①

「建物被害認定に関する基礎知識、及び災害による被害規模の把握、罹災証明の交付の流れ等について」

講師 一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会  
副会長 田代 芳信氏

### 内容②

「不動産登記規則第93条調査報告書の重要性について」

講師 大阪土地家屋調査士会 境界鑑定委員会  
委員長 西田 寛氏

今回の業務研修は二つのテーマで行われました。

まず一つ目のテーマは震災による被災建造物の危険度判定が主な内容でした。



平成7年、兵庫県は阪神淡路大震災により甚大な被害がありました。講師のその際の経験に基づき講義は進められていきました。一見、土地

家屋調査士には関係ない分野のように思われがちですが、先輩諸氏にお聞きしたところ、大震災の折り被災登記上建物の実態調査で走り回られたと聞きます。もちろん建築士さんの調査とは異なりかもしれませんが、やがては登記と連動していく内容です。講師にご準備いただいた「ボランティア参加協力のお願い」の文書は震災当時緊急に作成されたものようでかなり文体が生々しいものでした。「できれば携帯電話、ポケットベル…各自で用意」などに時代を感じてしまいましたが、考えてみれば早いものであれからちょうど20年も経っているのですね。インターネットの情報によると南海トラフによる震災の発生確率は30年以内に70%らしいです。それもM8～9クラスとのこと。万が一に対処できるようにこういったノウハウを事前に準備

しておくことはたいへん重要なことでしょう。被災建築物応急危険度判定士の業務・連絡体制はマニュアル化されており、いざという時に破綻なく行動できるようになっています。我々土地家屋調査士としては震災において一体どういう社会貢献ができるのか阪神淡路大震災・東日本大震災のことを思い出しながら、業界として今一度深く考えてみるのも大切なことでしょう。

後半はお馴染みの西田先生の講義です。調査報告書の歴史からその重要性に至るまでのお話をいただきました。

今まで決められた様式に深くも考えずただ漫然と書き連ねていただけの私ですが、講師の「白紙に実地調査の報告が書けますか？」という問いに思わず「うーむ」と唸ってしまいました。たたみかけるように「自分たちがプロとして生きていくためにはそれくらいのことが必要である」とのお話し。我々が登記申請において扱う権利の客体たる不動産を明確するためにいかにして現地を特定したか、資料の収集・評価・分析・判断をどのように行ったか。土地家屋調査士の専門性は実はそこにあるのです。「調査報告書を書くのは筆界特定書を書くようなもの」とはまさにその通りだと思いました。西田先生の講義はいつお聞きしても圧倒させられます。私もこれからは「調査報告書に魂・愛を込めて」作成していこうと思っています。

前半の講義では「被災建築物応急危険度判定士の講習についても災害等で貢献できそうなものは受講したい」など、後半の講義では「単にルーチンとして流してしまっている確認作業を見直す機会になった」などの感想が寄せられていました。

(神戸支部 大野 信之)



## 境界問題相談センターひょうご関与構成員研修会 「調停における臨床力」

日 時：平成27年3月14日（土）14時00分～

場 所：本会地下会議室

昨年3月の選択研修会ではADRの役割と人間力について講義いただきましたが、その講義に継続する内容で、元広島高裁判事で弁護士の上原裕之先生により、ADRについての研修会が本会にて行われました。

個人的に前回の講義はとても印象深く、予想外のものだったので、今回の講義を楽しみにしておりました。今回は前回よりも具体的であり、解り易い内容でした。調停に対する私の以前までのイメージは、双方の主張を理解し、専門家としてやんわりと双方を妥協点に誘導し、着陸のお手伝いをするという管制塔のようなものでした。しかし講義を聞いてその考えが誤りであることが解りました。普段の業務ならそれで良いのですが、ADRは全く違います。このことを理解した調停員と、そうでない調停員とでは、結果は同じだったとしても、内容は全く別ものになるでしょう。

講義の中では話し合いのレッスンとして、参加者がグループに分かれ、一定の条件の中（グループ内に一人司会者がいる）で話し合いをして、その内容を発表



するというものがありました。もちろんADRを意識したものなのですが、その内容に対する上原先生の解説は大変解り易く、ADRに対する最低限のルールを理解するのに役立ちました。

正直今までADRに疑問を感じたことも多々あったのですが、それは私が十分に理解していなかったからです。ADRについて理解を深めることは、調査士として必ずプラスになると思います。

（推進委員 岡田 卓也）



平成27年度

# 第1回 測量研修会 (座学)

アンケート集計結果

開催日：5月9日(土)  
 場所：本会地階会議室  
 講師：本会技術対策委員会  
 研修概要：測量の基礎、基準点の使用と地積  
 測量図作成手法、基準点測量  
 受講者：30名

回答者数 30名

## 1. 座学研修

①講義の時間は、適当でしたか。

A はい<30>      B いいえ<0>

- ・集中力が続くちょうど良い時間である。
- ・長すぎず集中できる時間でした。
- ・ちょうどよく感じました。
- ・1コマが長すぎず良かったです。
- ・休みもとっていただいてちょうどよかったです。
- ・早めに終わり、各講義の時間もきっちり終わっていてよかったです。
- ・先生が3人も担当していただいて、メリハリのきいた講義でした。その為それぞれの時間、最後まで集中して取り組めるものでした。

②講義の内容は、理解できましたか。

A はい<26>      B いいえ<0>

C どちらともいえない<4>

- ・座標の誤差に関する講義ですが、実務経験がないものにとっては少し難しく感じました。
- ・難しいのでわからなかった。
- ・少し自分では難しいところがありました。
- ・資料も充分いただいてあとから見ても分かりやすいと思いました。
- ・平均の話は興味深かったです。
- ・資料及び説明がわかりやすかった。
- ・テキストと画面との説明でわかりやすかった。
- ・基本の話や具体的なものまであり、とても勉強になりました。特に計算は測量のプログラムで自動的に流れていくだけでしたので、基礎を学べたことは大変ありがたく思いました。

2. カリキュラムの内容は、適当でしたか。

A はい<26>      B いいえ<0>

C どちらともいえない<4>

- ・難しいのでわからなかった。
- ・実際の業務により近い内容のカリキュラムがありがたいです。
- ・初心者から上級者まで対応されていると思う。
- ・実務でしていることを改めて確認できた。

・県ごとに少し違うという事でしたので。

・これからの仕事に活かせそうです。家に帰ってまた目を通しておきたいです。

3. 測量実習の受講に向けて、要望があればお聞かせください。

- ・実務に即した方法が良い。
- ・期待しています。地積測量図まで作成できるよう頑張ります。
- ・あまり高度な平均網計算は今回は難しすぎると思いました。
- ・特にありませんが基本から勉強したいです。
- ・基礎からを再確認できればよいです。
- ・測量計算の講義を増やしてほしい。
- ・研修の案内に測量研修ABCの内容を書いているとなおよかったと思いました。
- ・実務的なことをどんどんお願いします。
- ・また参加したいです。
- ・都合が合わず参加できないのが大変残念です。

4. 研修会の感想や意見があれば、お聞かせください。

- ・為になった。
- ・大変勉強になりました。
- ・ありがとうございました。
- ・大阪からですが貴重な体験ができました。来年もよんでください。
- ・わかりやすく良かったです。
- ・2度目の参加でしたが、1回目の時より理解できました。大阪と兵庫の地積測量図の記載事項の違いを教えていただいて良かったです。
- ・わかりやすい資料に動画等をご用意していただきありがとうございました。本日の講義のようになすぐに使える研修会がありましたら経験の少ない者としては大変助かります。ありがとうございました。
- ・測量技術の説明が初歩的な内容から一気に高度な基準点測量の内容にレベルが上がりすぎたので、実務経験がない人には難しいのでは?と思いました。
- ・個々のレベルに応じた研修があればと思いました。

平成27年度

## 第2回 測量研修会 (測量実習及び計算)

アンケート集計結果

開催日：5月15日(金)、16日(土)  
 場所：しあわせの村、本会地階会議室  
 講師：本会技術対策委員会  
 研修概要：A 測量基礎 B 基準点測量  
 C 平板測量  
 受講者：31名

回答者数30名

1. 開催時期は、適当でしたか。

- A はい<29> B いいえ<1>  
 ・暑くも寒くもなく適当だと思います。  
 ・繁忙期のため6月頃希望。

2. 費用については、適当でしたか。

- A はい<30> B いいえ<0>



3. 実習時間は、適当でしたか。

<測量実習>

- A はい<30> B いいえ<0>  
 ・十分に体験することができました。これほど有意義な測量研修会は他にはないと思います。  
 ・踏査・選点から開始したのでイメージがつかめてよかった。  
 ・普段しない作業で新鮮でした。

<計算実習>

- A はい<27> B いいえ<3>  
 ・これも実際に測量して手簿データを入力するところから行うという非常に有意義なものでした。  
 ・よく説明していただきました。  
 ・一連の流れが把握できました。  
 ・ソフトの使用でわかりやすく教えていただけた。  
 ・少し時間が余りました。  
 ・できれば使っているメーカーがよかった。

4. 今回参加された会員と情報交換、親睦などの交流ができましたか。(複数回答)

- A はい<30> B いいえ<0>  
 ・受講者と<26> ・講師役員と<16>  
 ・協力メーカーと<11>

5. 現地実習の講師の指導、運営は適切でしたか。

- A はい<30> B いいえ<0>  
 ・よくやってもらいました。  
 ・機械の据え付けの方法が講師によって違っていたので、かえってそれがよかったです。  
 ・親切に教えていただきました。  
 ・とても分かりやすく丁寧に教えていただきました。  
 ・わかりやすかったです。

6. 計算時の講師の指導、運営は適切でしたか。

- A はい<30> B いいえ<0>  
 ・辛抱強く教えていただきました。  
 ・実務に即した話があり良かったです。  
 ・ありがとうございました。

7. 今後希望する測量実習の研修がありますか。

- ・また参加したいと思います。  
 ・今のままでよい。  
 ・変換のやり方。  
 ・CAD研修していただきたいです。(前回参加できませんでした。)





- ・平板測量。
- ・平板は測量の基本的なことがわかりよかった。
- ・3D。
- ・GNSS。
- ・実際の街区基準点を使用した場合の境界測量の  
手順、選点作業など。
- ・Bの基準点に参加させていただきましたが、C  
の平板までの間にBの基準点を使って調査士の  
業務でよくあるパターン等を研修していただ  
けると大変うれしいです。
- ・具体的なケースから。
- ・現場と図面の違いをどう処理するのか。

8. 研修会の感想や意見があれば、お聞かせください。

- ・本当にありがとうございました。
- ・奈良会から参加させていただきました。来年も  
来たいです。ありがとうございました。
- ・勉強になりました、ありがとうございました。
- ・参加させていただいて良かったです。
- ・また参加させてください。
- ・大変役に立つ内容だと思いました。
- ・よかったと思います。
- ・大変勉強になりました。
- ・丁寧に教えていただきました。
- ・参加させていただいて良かったです。
- ・とても為になりました。
- ・やはり先輩方々のお話をきけるのが一番と思  
いました。
- ・面白くて、難しいというのがつくづくの感想で  
す。
- ・平板測量は初体験だったので楽しかった。

**Q&A** 近時の法改正や実務の動きを踏まえた最新の内容！

## 表示登記実務マニュアル

**すいせん** 日本土地家屋調査士会連合会  
**編集** 表示登記制度実務研究会  
代表 西本 孔昭 (日本土地家屋調査士会連合会顧問)

加除式・B5判・全1巻・ケース付・総頁1,688頁  
本体価格11,000円＋税 送料実費

■加除式書籍は、今後発行の追録(代金別途)と併せての  
ご購入となります。

**新日本法規オンライン**

本書はオンライン書籍も発売しています。  
年間利用料 本体価格12,000円＋税

登記官からみた 実務家の疑問を解消する1冊！

## 「真正な登記名義の回復」・「錯誤」

—誤用されやすい登記原因—

**著** 青木 登  
(元東京法務局 豊島出張所 総務登記官)

A5判・総頁296頁  
本体価格3,200円＋税 送料実費  
(電子書籍版) 本体価格2,600円＋税

**新日本法規出版** 大阪支社  
☎540-0037 大阪市中央区内平野町2丁目1番12号  
☎(06)6947-0695

**ホームページ** <http://www.sn-hoki.co.jp>

**新日本法規 Web** で **検索**

**E-mail** [osaka-eigy@sn-hoki.co.jp](mailto:osaka-eigy@sn-hoki.co.jp)

## 日本土地家屋調査士会連合会 第72回定時総会トピックス

去る平成27年6月16日（火）と6月17日（水）の二日間に亘って行われた日本土地家屋調査士会連合会（以下日調連という）の総会へ代議員として出席いたしました。日調連の総会の構成員は連合会会則第19条第2項及び3項の規程による代議員制となっており、兵庫会からは会長と4名の代議員となるため、会長と橋詰、安居、中井、三嶋の4名の副会長で出席いたしました。今回の総会は通常の総会の議事に加え、会長及び副会長選挙等、役員選任も議案となっていた総会でした。



会場の雰囲気

今回の総会に出席するにあたり、事前に兵庫会から次の質問を用意しておりました。

1. 日調連特定認証局開局から閉局までに多大な費用を要していたと思われるが、民間移行により今後の連合会費へ及ぼす影響はどのように見込まれているか。
2. 筆界特定と土地家屋調査士ADRの連携における境界標識設置に繋がる枠組みについての課題と方向性について、現時点での検討結果はどうなっているか。

回答について、正式には議事録にて報告されますが、回答者の言葉として、1.の回答は、認証局に要した費用は年間3400万円から4000万円であり、民間移行により、800万円程度になることにより、他の事業に予算を充てることとなる。2.の回答は、現時点で具体

的な検討内容を示すものはない。とのことでした。日調連に対しての質問は、他の会からも様々あり、全部で35の質問がありました。それら1つ1つに回答をし、議論するため、かなりの時間を割かれることになっていました。



あいさつをする林会長

総会の進行は二人議長体制で行い、副議長を置かず、二日間で行われる会議を日替わり議長で進行するスタイルとなっています。

一日目は会務報告及び決算報告、そして質疑応答、その後会長及び副会長選挙と進行されました。



あいさつをする両議長

日調連の会長及び副会長選挙は、事前に各候補者の所信が配布され、ホームページ等で閲覧可能ですが、投票資格者は当日の出席者に限られているため、我々の代表を決める大事な一票を投じてまいりました。

この選挙の投票用紙は事前に候補者を印刷しており、その候補者氏名の上に丸印を付ける方式で、会長は1名なので1つ付け、副会長は4名選出だが、3名に丸

を付ける方式になっています。そして一人一人投票箱に行き、その場で丸印を記入して投票といった流れで行い、その間議場は閉鎖されました。



投票の様子

会長、副会長選挙投票が終わったことで、一日目の議案がすべて終わり、残りの議案は二日目となります。一日目の晩に懇親会を行い、懇親会には多くの国会議員の先生がこられ挨拶をされていました。特に報告事項はありませんが、2時間ほど懇親を深めました。

二日目の議案は、事業計画及び予算案の議論と選挙結果報告です。一日目と同じように質問事項に回答する時間を多く取り、計画案は可決されました。選挙結果については、会長選は林千年（岐阜会）108票、國吉正和（東京会）71票となり林千年会長に、副会長選は岡田潤一郎（愛媛会）124票、加賀谷朋彦（栃木会）124票、菅原唯夫（岩手会）117票、海野敦郎（神奈川会）82票、宮嶋泰（大分会）78票となり、岡田潤一郎、加賀谷朋彦、菅原唯夫、海野敦郎各副会長となりました。

続いて理事の選考は各ブロックからの推薦者と会長よりの指名者3名を追加した25名を可決し、監事及び予備監事も定数の選考者を可決し、すべての役員が決まりました。

今回の理事の中に、兵庫会から藤井十章（阪神支部）会員が選任され、2年間活躍いただくことになりました。藤井会員は以前から日調連の役員として活躍いただいていたのですが、このたび、近畿ブロックの推薦

もあり、日調連の会務運営の一翼を担っていただくことになり、藤井会員の活躍を期待しております。

以上のように二日間に亘った日調連の総会も正午に終わり、同日に帰路に着きましたが、今回の総会において、調査士会会員全員に約束したこと、示した将来像、これらを着実に実行するか、今後の執行部の活躍を祈願しつつ、見届けていきたいと思いました。

#### 追伸

今回の総会会場内にて、第30回写真コンクールの入賞者の作品が展示されておりました。兵庫会から、大坪昇会員と大坪千津子さんの作品が銅賞を獲得され展示されておりました。



大坪昇会員作、土地家屋調査士の業務風景



大坪千津子さん作、土地家屋調査士の立会風景

この記事を読んで、私もと思った方、来年のコンクールに参加されてはいかがですか？

（副会長 三嶋 裕之）

姫路支部



平成26年度FMラジオ

## FMゲンキ 調査士のモノサシ

「調査士のモノサシ」を放送しているFMゲンキは、姫路・西播磨地域を対象に発信するコミュニティ放送局です。79.3MHz。姫路・西播磨以外の地域では、電波が届きにくいですが、カーラジオでは比較的聴きやすいようです。またFMゲンキのサイトからインターネットを経由してラジオを聞くこともできます。実際、大阪や九州の知り合いが、聴くことができたと教えてくれました。

さてFMゲンキでは、夕方4時から放送している「夕方交差点ゲンキもって来い！」という番組があります。パーソナリティは日替わりで、曜日ごとに特色のある構成になっています。決まりごとは、ニュース、天気予報のほかに、決まった時刻に交通情報を放送することです。

そして「調査士のモノサシ」は、第2、第4水曜日の番組の中で10分間のコーナーとして放送しています。生放送です。

ちなみに同じ枠の第1、第3水曜日は進学塾の先生による教養バラエティのコーナーで、勉強に興味が出てくる楽しい番組です。テーマやテンポ、声のトーンが好きで、お手本にしています。

「調査士のモノサシ」は月に2回の放送ですが、2011年10月からコーナーを始めているので80回ぐらい放送してきました。スタートした時から、会話形式で原稿を読まないことが、ぼくらのスタイルです。

放送を聞いているみなさんに、土地家屋調査士という仕事があることを知ってほしいし、土地家屋調査士の仕事の話聞いてほしいと思っています。ところで



放送中はどこに向かって話しているのかというと、ぼくは主にパーソナリティの脇さんに向かって話しています。それ以外の場合では、ブースの外のベンチに座って聞いている人がいたなら、その人に向かって話しています。1対1の気持ち、手法としての心構えです。

テーマは当日決定します。理想は、最近のニュースを絡めた内容をテーマとして取り上げることです。例えば、空き家を上手く利用しているというニュース。土地家屋調査士の目では、どのように見えているのか。空き家の所有者やその相続人に、どんなアドバイスができるか。

いつもこんな具合に興味深いテーマを見つけられるといいのですが、普段は依頼者とのエピソードを元に、一般の話として紹介することでのいでいます。

ぼくらが何を伝えたいかは大事ですが、その先にはリスナーは何を聞きたいか、ぼくらの話を聞いていいことがあるのか、一時、耳を傾けてもらうためには大切なことです。

一方、テーマ以外に大事なことは、聞き取りやすい発声で省略せずに「土地家屋調査士」と言ってもらえることです。特にパーソナリティの脇さんの声は、雑踏の中でも紛れることのないタイプの声です。同じ内容でも、繰り返したり言い換えたりしてもらうことで、届きやすい声が放送されるのです。運転中の聴取など、聞き流されやすい状況に対する手法であり、逆にラジオ放送のいいところでもあります。

長く続けていても、なかなか慣れることは難しいです。準備なしに「はい」では何も話すことができません。これから先はみなさんにも協力していただきながら、よりよいコーナーを作っていきたいと思います。

また、年に4回発行されるFMゲンキのフリーペーパーには、「調査士のモノサシ」が度々掲載されています。5万部発行され、その一部は1500カ所に設置されているそうなので、見かけたときは手にとってご覧ください。

(姫路支部 増田 仁志)

Topics

## 理事会トピックス

### 平成26年度第5回理事会

【開催日】平成27年1月22日(木)

会長あいさつの後、議事録署名人に松浦康裕理事、田中昭範理事の2名が選任され、岸本会長を議長に会議が進められた。

#### 連絡・報告事項

1. 会務全般報告
2. 各部報告
3. 全国会長会議報告
4. その他

#### 審議事項

1. 本会ホームページへの補助者募集情報の掲載について

会員における円滑な補助者雇用に資するため、本会ホームページに会員の補助者募集情報を掲載することについて総務部より提案があり、異議なく承認された。

2. 顧問弁護士について

契約内容を含めた顧問弁護士の見直しについて総務部より提案があり、異議なく承認された。

#### 協議事項

1. 安否確認訓練について
2. 平成26年度事業の確認について
3. 平成27年度事業計画案及び予算案の策定について

### 平成26年度第6回理事会

【開催日】平成27年3月26日(木)

会長あいさつの後、議事録署名人に遠藤好城理事、濱口徹理事の2名が選任され、岸本会長を議長に会議が進められた。

#### 連絡・報告事項

1. 会務全般報告
2. 各部報告
3. その他

#### 審議事項

1. 平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案及び予算案について

平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案及び予算案について順次審議が行われ、本会定時総会に上程することとした。

2. 特別会費制度の見直しについて

近年オンライン登記申請の普及に伴い、特別会費納付書に1年分の証票を添付されるケースが多くみられることとなったことから、平成28年分取扱事件より証票を廃止し、1年間の総事件数に基づく特別会費金額の納付制度に変更することについて提案が行われ、本会定時総会に上程することとした。

3. 表彰受賞候補者について

平成27年度各表彰受賞候補者について異議なく承認された。

#### 協議事項

1. 定時総会までの主な会議スケジュールについて
2. 地籍問題研究会報告

## 平成27年度第1回理事会

【開催日】平成27年5月22日(金)

会長あいさつの後、議事録署名人門脇直彦理事、竹添貴浩理事の2名が選任され、岸本会長を議長に会議が進められた。

### 連絡・報告事項

1. 会務全般報告
2. 各部報告

### 審議事項

#### 1. 定時総会の運営について

定時総会のタイムスケジュール及び議案について総務部より提案があり、異議なく承認された。

#### 2. 会長表彰受賞者について

本年度定時総会において表彰受賞となる本会会長表彰受賞者について、各支部より推薦のあった11名について、異議なく承認された。

#### 3. 境界問題相談センターひょうご手続実施者の選任について

本年6月1日より新たな任期となる新たな手続実施者について、センター運営委員会からの推薦者37名について、新たな手続実施者として任命することで異議なく承認された。

#### 4. 情報公開に関する細則の改正について

情報公開に関する規則では、法人を含む会員の懲戒処分に関する情報を公開する一方で、情報公開に関する細則では会員でなくなったときはこれを抹消することとされており、同規定に基づくと会員が業務の禁止の処分を受けた際は登録を取り消すこととなり、情報公開することができなくなることから、懲戒処分の情報に関しては登録の有無にかかわらず情報を公開するための細則改正案が提案され、異議なく承認された。

### 協議事項

1. 神戸支部による「空家等対策の推進に関する特別措置法案に対する附帯決議」に関する神戸市、芦

### 屋市への意見書の提出について

2. その他

## 平成27年度第2回理事会

【開催日】平成27年6月12日(金)

会長あいさつの後、議事録署名人田中昭範理事、岡崎直代理事の2名が選任され、岸本会長を議長に会議が進められた。

### 審議事項

1. 副会長及び理事の担当する業務範囲の指定案について
2. 常任理事の指定案について

副会長及び理事の担当する業務範囲の指定案について審議、以下のとおりとすることで承認された。また、常任理事会については、部長をもって充てることで承認された。

	副会長	部長	副部長	理事
総務部	橋詰 繁美	山本 光利	田中 昭範	
財務部	橋詰 繁美	大手 信明	岡崎 直代	
業務部	安居 正彦	関和 孝	瓜生 哲也	坂田 秀和 藤本 明生
広報部	三嶋 裕之	中山 敬一	菊田 貴恵	佐古井 守
研修部	安居 正彦	渡邊 茂樹	岸部 勇	小柴 健二 山形 健郎
社会事業部	三嶋 裕之	高橋 雅史	宮嶋 明	竹島 丈 立花 義房
センターひょうご	中井 富子			

#### 3. 会長職務代理者の指定案について

会長職務代理者に第1順位として橋詰副会長、第2順位として安居副会長、第3順位として三嶋副会長、第4順位として中井副会長、第5順位として山本総務部長とすることで、岸本会長より提案がなされ、異議なく承認された。

#### 4. 注意勧告理事会の理事及び損害保険事故処理委員の人選案について

注意勧告理事会の理事として、山本総務部長、大手財務部長、関和業務部長、渡邊研修部長、高橋社会事業部長の5名をもって充てること及び損害保険事故処理委員に山本総務部長、大手財務部長、関和業務部長をもって充てることで承認された。

5. 紛議調停委員会委員の人選について

紛議調停委員会委員に江本名誉会長、橋詰副会長、山本総務部長、関和業務部長、中山広報部長、熊澤前理事、鈴木顧問弁護士をもって充てることで提案がなされ、異議なく承認された。

6. まちづくり事務局委員、地籍問題研究会委員の人選について

まちづくり事務局委員に中井副会長、高橋社会事業部長をもって充てること及び本会が会員として登録している地籍問題研究会の代表者等を役員改選に伴い変更することで異議なく承認された。

7. 相談役・参与の人選案について

相談役、参与について、名誉会長顧問等の委嘱に関する基準に基づき、相談役にこれまでの相談役である室谷元会長、天野元会長、小田相談役、福岡相談役、吉井相談役に加えて新たに内川元副会長、河嶋前副会長を委嘱すること及び参与については、泉山前監事を委嘱することで承認された。

8. 顧問の人選案について

政治連盟より提案のあった以下の顧問議員案について異議なく承認された。

衆議院議員 自民党 西村康稔議員、盛山正仁議員、藤井比早之議員  
 公明党 赤羽一嘉議員  
 民主党 松本剛明議員  
 参議院議員 自民党 鴻池祥肇議員、末松信介議員

県議会議員 自民党 加田裕之議員、上田良介議員、黒川治議員、幣原都議員、内藤兵衛議員、森脇保仁議員、吉岡健議員  
 公明党 野口裕議員、松田一成議員

9. 各部・委員会の構成員人選と今後の運営案について

本会各部、委員会の構成員の人選について協議、境界問題相談センターひょうご推進委員会を除く構成員について承認された。

境界問題相談センターひょうご推進委員会については、次回理事会において審議することとした。

10. 連合会総会代議員の人選と対応案について

連合会定時総会代議員として、橋詰・安居・三嶋・中井各副会長の4名が選任され、岸本会長と共に出席することとした。

11. 退任役員に対する記念品贈呈について

本年度定時総会をもって退任することとなった役員に対する感謝状等の贈呈について審議、提案のとおり承認された。

協議事項

1. 政治連盟作成「空家等対策の推進に関する特別措置法」の適切な実施を図るための専門家利用の提言書に本会会長を連記する件について
2. 今後の理事会の開催予定について
3. その他

福井コンピュータ 測量CAD BLUE TREND Win  
 トプコン ノンプリズムトータルステーション  
 武藤工業 インクジェットプロッタ

測量機械・製図機・コンピュータ  
 事務機・事務用品・販売・修理

有限会社 システム測器

〒651-1114 神戸市北区鈴蘭台西町2丁目20番23号

TEL (078) 592-8585(代)  
 FAX (078) 592-8584



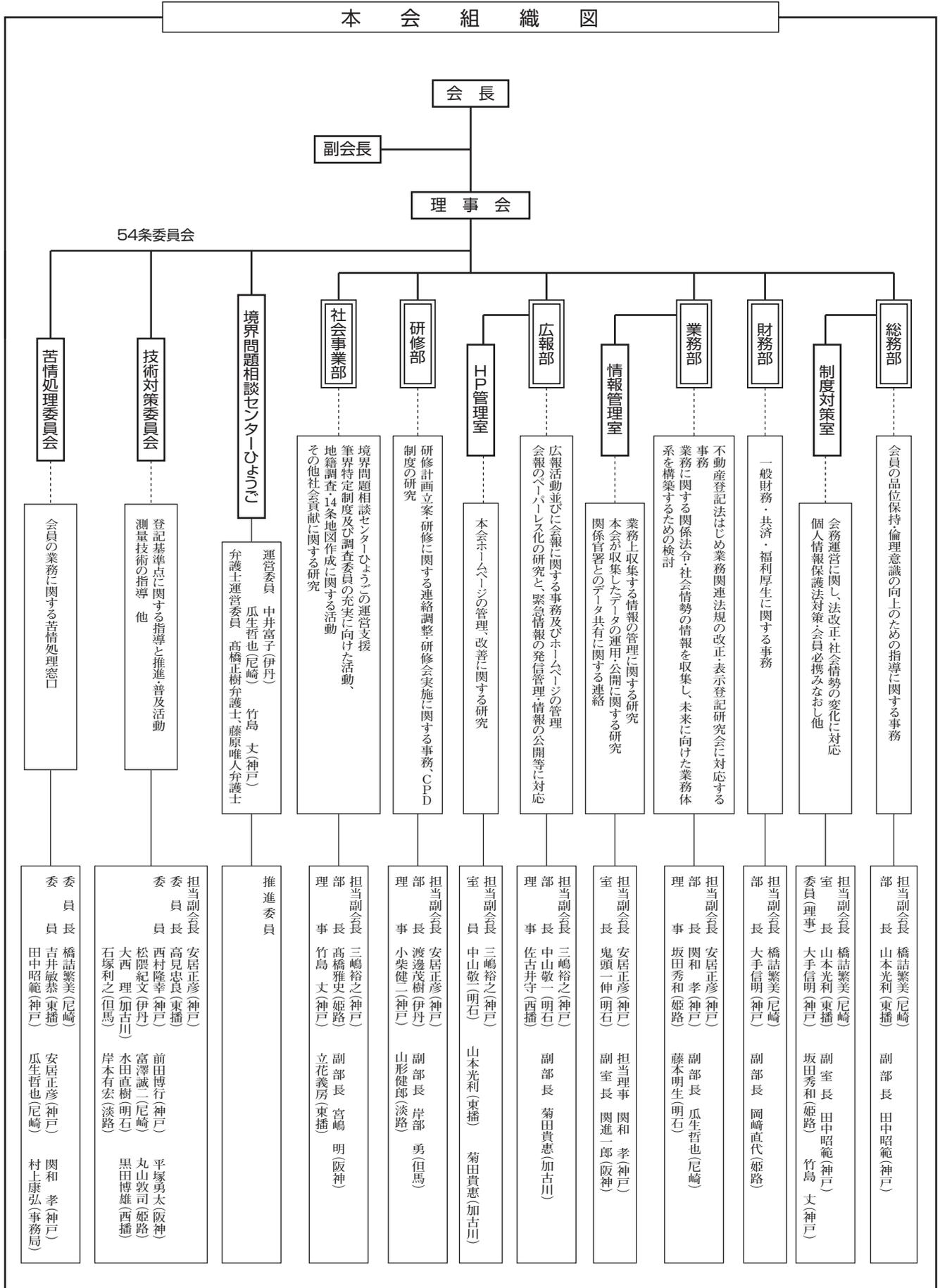
40×40×5mm



60×60×5mm

\*神戸市（道路）境界票他各種取り揃えております。

本 会 組 織 図



本会役員、各部・各委員会構成メンバー一覧

会 長	岸 本 八太郎
副 会 長	橋 詰 繁 美
副 会 長	安 居 正 彦
副 会 長	三 嶋 裕 之
副 会 長	中 井 富 子

監 事	阪 田 哲 彦
監 事	大 坪 昇
監 事	大 富 厚

	総務部	財務部	業務部	広報部	研修部
担当副会長	尼 崎 橋詰 繁美	尼 崎 橋詰 繁美	神 戸 安居 正彦	神 戸 三嶋 裕之	神 戸 安居 正彦
部 長	東 播 山本 光利	神 戸 大手 信明	神 戸 関和 孝	明 石 中山 敬一	伊 丹 渡邊 茂樹
副 部 長	神 戸 田中 昭範	姫 路 岡崎 直代	尼 崎 瓜生 哲也	加古川 菊田 貴恵	但 馬 岸部 勇
理 事			姫 路 坂田 秀和	西 播 佐古井 守	神 戸 小柴 健二
理 事			明 石 藤本 明生		淡 路 山形 健郎
理 事					
理 事					
部 員	神 戸 大平 祐規子		神 戸 若原 弘行	神 戸 横田 史生	神 戸 池端 徳幸
	淡 路 福本 敬視		阪 神 山根 淳弘	阪 神 宮川 王音	姫 路 岩見 健次郎
			伊 丹 島本 一幸	伊 丹 細山 慶太	但 馬 細見 浩夫
			尼 崎 稲岡 二郎	尼 崎 呉本 守男	淡 路 藤堂 登
			姫 路 藤井 裕一	姫 路 廣瀬 孟司	
			加古川 今面 敏幸	加古川 廣田 隆徳	
			明 石 鬼頭 一伸	明 石 山崎 伸恵	
			西 播 小部 英樹	西 播 竹内 尚	
			但 馬 森田 公男	但 馬 寺内 正成	
			東 播 井上 勝彦	東 播 村上 由佳	
			淡 路 濱口 雄裕	淡 路 中本 千博	

	社会事業部	技術対策委員会	センターひょうご	情報管理室	制度対策室
担当副会長	神 戸 三嶋 裕之	神 戸 安居 正彦		神 戸 安居 正彦	尼 崎 橋詰 繁美
部長・委員長	姫 路 高橋 雅史	東 播 高見 忠良	伊 丹 中井 富子	部 長 関和 孝	東 播 山本 光利
副部長・委員長	阪 神 宮嶋 明		神 戸 竹島 丈	室 長 鬼頭 一伸	神 戸 田中 昭範
委員(理事)	神 戸 竹島 丈	神 戸 西村 隆幸	尼 崎 瓜生 哲也	阪 神 関 進一郎	神 戸 大手 信明
委員(理事)	東 播 立花 義房	神 戸 前田 博行		姫 路 藤井 裕一	姫 路 坂田 秀和
委員(理事)		阪 神 平塚 勇太		加古川 今面 敏幸	神 戸 竹島 丈
部員(委員)	神 戸 天野 泰志	伊 丹 松隈 紀文			
	阪 神 矢野 将秀	尼 崎 富澤 誠二			
	加古川 川畑 秀哲	姫 路 丸山 敦司			
	西 播 北川 昌彦	加古川 大西 理			
		明 石 水田 直樹			
		西 播 黒田 博雄			
		但 馬 石塚 利之			
		淡 路 岸本 有宏			

	紛議調停委員会	苦情処理委員会	綱紀委員会	選挙管理委員会	支部長会
委 員 長	神 戸 江本 敏彦	尼 崎 橋詰 繁美	神 戸 正心 章	西 播 福浦 茂樹	神 戸 樋口 敦仁
副 委 員 長	尼 崎 橋詰 繁美	東 播 吉井 敏恭	阪 神 浅田 寿之	加古川 熊澤 務	阪 神 祝 昌克
委 員	東 播 山本 光利	神 戸 安居 正彦	伊 丹 宮島 文夫	神 戸 多田 順治	伊 丹 篁 繁樹
	神 戸 関和 孝	東 播 山本 光利	尼 崎 中村 光司	阪 神 中田 温通	尼 崎 八尾野 孝之
	明 石 中山 敬一	神 戸 関和 孝	姫 路 赤藤 健治	伊 丹 長澤 典永	姫 路 山本 剛
	加古川 熊澤 務	神 戸 田中 昭範	加古川 大西 雅裕	尼 崎 八尾野 孝之	加古川 中西 勉
	顧問 鈴木 尉久	尼 崎 瓜生 哲也	明 石 高見 清治	姫 路 真鍋 博行	明 石 阪尾 雅由
	事務局 村上 康弘	事務局 村上 康弘	西 播 竹添 貴浩	明 石 中塚 靖佳	西 播 坂本 喜則
			但 馬 竹尾 尚	但 馬 荒川 修介	但 馬 大森 良明
			東 播 遠藤 好城	東 播 松本 順三	東 播 甲山 正則
			淡 路 濱口 徹	淡 路 原田 固	淡 路 長濱 宏樹

## 支部長就任あいさつ

### ◆神戸支部



支部長  
樋口 敦 仁

4月24日の定時総会におきまして、2期目の支部長を拝命いたしました神戸支部の樋口敦仁でございます。また、6月12日の支部長会におきましては支部長会議長にも選任いただき、ますます身の引き締まる想いでございます。

右も左もわからないまま、前期、支部長ならびに支部長会議長を務めてまいりました。至らぬ点など多々、ございましたでしょうし、皆さまにもご迷惑をおかけすることもあったのではと思います。今期はこれまでの経験を活かし、反省すべきところを改善し、両重責をまっとうしたいと思っておりますので今後とも、よろしくお願い申し上げます。

支部運営に際しましては、これまでの神戸支部の伝統を引き継ぎつつも、現状に即した支部運営をと、執行部および役員一同取り組んでまいりました。目にみえる変革にいたるまでではないまでも、一歩ずつ前進できたのではないかと考えております。今期は目に見える新しいことにもチャレンジし、神戸支部の更なる飛躍に貢献したいと思っております。

支部長会議長としての職責については、これまでよりも一層、各支部間における連携や情報共有に務め、本会をはじめ、公嘱協会、政治連盟、青調会との協働を図り、相乗効果が生まれるように務めてまいります。

大手企業の賃金ベースアップなど景気回復に関する報道もなされる一方、自然災害などこれまでになかったような報道も目にし、耳にする機会が増えたのではと感じています。よい傾向に動くにしても、悪い傾向にあるにしても、様々な方面で変革の時期が訪れているのではないのでしょうか。

土地家屋調査士が身を置く現状も同様ではないでし

ょうか。先般の空家等対策の促進に関する特別措置法案に対する付帯決議の決定を受け、土地家屋調査士が職責を果たすことのできるステージが広がりつつあります。土地家屋調査士が一致団結して取り組まなければならない問題でございますし、必ず職域を確保しなければなりません。

同問題のみならず、土地家屋調査士が未来永劫と国民に必要とされる資格者であり続けるためには、土地家屋調査士が同じベクトルを向かなければなりません。各支部、本会、公嘱協会、政治連盟、青調会など、様々なコミュニティがございます。各々が求められる活動を行なう事はいうまでもありませんが、それらの情報をいかに共有するかが重要だと考えます。

情報を共有する中で、各コミュニティを越えた提案や指摘なども生じるでしょう。それらを真摯に受け止め、取り組むことで、より有意義な活動になるものと信じております。微力ではございますが、土地家屋調査士が更なる昇華を遂げる一助となるべく、支部長職、支部長会議長職をまっとうしたいと思っておりますので、皆さまのご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

### ◆阪神支部



支部長  
祝 昌 克

このたび阪神支部の支部長を仰せつかりました祝昌克と申します。

歴代支部長、歴代役員の方々が、長年にわたり、大変なご苦労をされて支えてこられました阪神支部の支部長をお引き受けするのは、身の引き締まる思いがいたします。

## 支部長就任あいさつ

私のような若輩者に、支部長の大役が務まるかどうかは不安でございますが、仰せつかった以上は、支部会員の皆様方、支部役員の皆様方のご助力をいただきながら、支部を盛り立てていきたいと思っております。

政治連盟の方々のご苦労されている「空家等対策の推進に関する特別措置法」の件、東日本大震災や、口永良部島や浅間山の噴火等々の件、私たち土地家屋調査士がおかれている世の中の環境や、自然界の環境が絶え間なく変化していております。そのような中、我々も、戦後2番目の地震災害である阪神・淡路大震災を実際に経験しております。

実際に経験して思うのですが、困難な状況を乗り越えていくためには、みんなで一丸となって立ち向かっていかなければならないということです。

世の中の皆様方に対して、支部としてできることを考える。会員の皆様方が在っての支部です。会員の皆様方が気持ちよく仕事ができる。そして、みんなで一丸となれる。

そんな支部に成れるように微力ながら頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願い申し上げます。

### ◆伊丹支部



支部長  
筧 繁 樹

第32回伊丹支部定時総会にて支部長に選出されました筧です。若輩者で経験も浅いので色々ご迷惑をおかけするかと思っておりますが、支部会員の皆様のお役に立てよう精一杯努力していきたいと思っております。

さて、私の登録・入会は平成15年です。父が土地家屋調査士をしておりまして関係でこの仕事を選びました。しかしながら最初から調査士になろうと考えていたわけではなく、大学は経済学部を選び、大学卒業

後は流通・小売り系の会社に就職し店舗や人事部などで働いておりました。数年後、訳あって調査士を目指すこととなり、資格予備校で2年ほど勉強して調査士試験に合格、登録となった次第です。

調査士に登録した当時は、まさか自分が支部長になるとは思っていませんでしたが、選ばれました以上は全力で職務に向き合いたいと思っておりますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### ◆尼崎支部



支部長  
八尾野 孝 之

このたび平成27年度の尼崎支部総会におきまして、瓜生前支部長の後任として、尼崎支部長の大役をおおせつかりました八尾野孝之と申します。

歴代支部長をはじめ支部執行部の方々を粉骨砕身され、築き維持されてきました尼崎支部の支部長をお引き受けすることになり、その重責で身の引きしめる思いがします。

昨今、21世紀問題としてかねてから問題視されてきた「空き家問題」が、現実的に目に飛び込んでくるようになってきました。

たとえ「空き家問題」をある程度解消しても、その先には「空き地問題」が待っているのでは？ また成年後見や相続等により複雑化した諸問題が奥底に横たわっているのではないかと未来を消極的に受け止めるがちです。

私は土地家屋調査士として経験豊富ではありませんが、改めて勉強する機会と受け止め、多方面の専門分野の方々とともに、まずは第一通過点の「空き家問題」に取り組んでいきたいと思っております。

経験、行動、社交の能力、どれも歴代の支部長にはとても及ばないかもしれません。

## 支部長就任あいさつ

気が回らず不用意な一言で、支部役員をはじめ皆様に不愉快な思いをさせてしまうかもしれませんが、懲りませずお力添え叱咤激励のほどよろしく願いいたします。

簡単ですが、就任の挨拶とさせていただきます。

### ◆姫路支部



支部長  
山本 剛

平成27年4月30日の姫路支部総会において、支部長に就任しました。山本 剛です。

私が支部運営を出来るか悩みましたが、姫路支部は神戸支部につぐ大きな支部であり、実際の事業を担当するのはそれぞれの担当副支部長であり、5人の副支部長さん達は優秀なので、私は副支部長さん達が支部事業を運営しやすい環境に整える事が役目と開き直り支部長を引き受けました。

さて、法務局のオンライン化が進み、法務局に行かなくても事務所で全部事項証明・測量図・字限図等が取れる様になり、便利になりました。便利になった反面、会員の方々が顔を合わす事も少なくなり、交流も少なくなって来ていると思います。支部帰属意識を高めるためにも、支部事業に積極的に参加して頂ける企画を副支部長と相談しながら考えたいと思っています。

また、他支部の情報もどんどん得て、よりよい姫路支部の実現のために、微力ながら頑張る所存ですので、皆様もご協力をお願い致します。

### ◆加古川支部



支部長  
中西 勉

この度、平成27年第37回加古川支部定時総会において支部長に選任されました中西 勉です。

土地家屋調査士会に入会し16年経ちますが、今まで諸先輩に頼りきりで、自ら行動することなく時の流れに身を任せていた私が、支部長の大役を引き継ぐことになり、もう少し何事にも関心を持って行動しておけばよかったと反省するとともに責任の重さを痛感しております。

まだまだ未熟者の私が、支部長の職を全うできるか不安ではありますが、歴代支部長が築き上げてきた功績を汚さぬように、支部役員並びに会員の皆様のご協力をいただき、精一杯この大役を務めてまいりたいと思います。

加古川支部は、加古川市、高砂市、加古郡播磨町、加古郡稲美町の2市2町に事務所を置く63名の会員が地元市民、町民から必要とされる資格者として日々職務に励んでいるところですが、アベノミクス効果の景気回復の恩恵を受けているようには感じられず、景気情勢は相変わらずで、むしろ消費税のアップ及び物価上昇に伴い、厳しさを増しているように思います。

大きなこと、立派なことは何もできませんが、こんな時代だからこそ支部の目的の原点に立ち戻り、本会また他支部との連絡を密に行い、的確な情報を会員に素早く伝達するように心がけ、組織としての風通しの良さと情報の共有化を推進していきます。一方で無駄な活動を省き、本当に会員のためになる支部活動を意識して行動していくことを心がけ、2年間をのりきりたいと思います。会員の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 支部長就任あいさつ

### ◆明石支部



支部長  
阪尾 雅由

このたび、明石支部長に就任しました阪尾です。

私は昭和50年4月から神戸にある測量会社にて、長年補助者として勤務後、平成13年4月に入会しました。明石支部には和やかな雰囲気があり、すぐに馴染めたことは、当時の支部役員のみなさんに感謝しています。

平成19年から4期8年副支部長として、支部のみなさんとおつきあいでまいりましたが、はじめて支部長という大役を仰せつかり、その責任の大きさを痛感しています。

もとより非才微力であり、支部長の大役を全うできるか不安であります。支部役員並びに会員各位のご協力を得て2年間の任期を務めたいと思います。

昨今不況が続き収入が減る中、我々土地家屋調査士の日常業務におけるトラブルも増加の傾向があり、また法改正等における業務処理方法等の変化に対応するため、支部研修の充実と広報活動が必要です。

明石支部は明石市、三木市、神戸市西区の3地区の会員で構成し、その会員数は現在54名です。

厳しい時代ですが、諸先輩方の今日までのご努力に報いるためにも、明石支部の発展のため、支部役員のみなさんと力を合わせて、支部運営に努めて参りますので、支部会員、本会役員のみなさんの一層のご協力をお願い申し上げて、ごあいさつに代える次第であります。

### ◆西播支部



支部長  
坂本 喜則

引き続き西播支部長をさせて頂くことになりました。

思えばこの2年、支部運営の段取りが分からず、気が付けば時間に追われ、バタバタとすることもありました。副支部長をはじめ支部役員の方々に支えられ、何とか無事に任期を務められたことを感謝しております。

2期目となりますので、この2年の経験を活かしながら、充実した研修や行事が出来ることを目指し、少しでも先輩方が築いてこられた西播支部らしさを引き継いでいければと考えております。

業界全体の仕事量が減少している中、2年前にはアベノミクスと騒がれ景気回復の期待が膨らんだ時期もありましたが、未だにその効果を実感できずにあります。しかしながら、空家対策に関する法律や地縁団体の所有する不動産の移転に関する法改正など土地家屋調査士の業務に関係しそうな政策もなされておりますので、新しい制度の中での業務の方法、またオンライン申請や基準点を利用した測量など、運用が開始して10年近く経ちますので、これまでの利用・経験を踏まえた上で更なるステップアップの必要もあり、時代の流れに遅れない様、研修を行なっていく大切さを感じております。

今期は、支部創設60周年にあたります。また歩こう会の担当支部にもなっております。例年以上に役員の方々の負担が増える事が予想されますが、支部会員の皆様の協力の下、充実した支部運営を心がけてまいります。至らない点多々あるかと思いますが、会員の皆さまのご指導ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

## 支部長就任あいさつ

### ◆但馬支部



支部長  
大森良明

先の支部総会で、前任の岸部支部長より、たすきを受け、一新した役員の皆様とともに支部の運営に携わらせていただくこととなりました。

岸部前支部長は就任当初より、その優れた人柄と行動力により、会員の信頼を得、支部の発展と若手調査士の育成に尽してこられました。その後任に、経験の浅い私が支部長を引き継ぐこととなり、果たしてこの重責に耐えうるのかと、大きな不安を感じておりました。

しかし、幸い経験豊かな副支部長をはじめとする支部役員の皆様にも囲まれての最初の役員会を終えた今、良きメンバーに恵まれ、その不安が少し解消されていることに気づいたところであります。

入会して13年、こうして調査士を続けられているのも多くの先輩会員の方々にご指導いただいたからだと感じております。

これから2年の支部長職、これまでお世話になった但馬支部及び支部会員の皆様への恩返しのため、自分らしさを忘れず誠実に務めさせていただきます。

つきましては、役員一丸となって研修会、親睦事業等の支部事業の企画・運営に努めて参りますので、会員の皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

### ◆東播支部



支部長  
甲山正則

去る、4月18日の支部定時総会におきまして、支部長を拝命いたしました東播支部の甲山正則でございます。

私は今年58才になりますが、平成11年に登録し経験が浅く、まだまだ支部長という大役が務まるものか不安でいっぱいです。

支部運営に関して核とした方針や目標を見出せていませんが、歴代の支部長及び先輩諸兄が行ってこられたことを踏襲し、会員の皆様のご意見をできる限り吸い上げ、本会と支部の連携により事業を進め、更に親睦が深められる活動を行って参りたいと思います。

今年は東播支部が移動支部長会の担当になっていきます。なにぶん準備に関してマニュアルがあるわけではなく、手探りの状態ではありますが他支部及び本会からお越しいただく役員の皆様が、有意義な時間を過ごしていただき「東播支部ここにあり」と言えるよう支部役員で準備を進めていますので多くの参加をお願い申し上げます。

また、来年には創立60周年を迎えることとなります。周年事業についても色々と考えていかなければなりません。ご協力をお願い申し上げますと共に調査士業界の厳しい環境を打破すべき活動を思慮できればと思います。

最後に、東播支部会員の皆様には、これからの2年間、支部運営にご指導・ご協力・ご理解・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

## 支部長就任あいさつ

### ◆淡路支部



支部長  
長 濱 宏 樹

この度、平成27年度第60回淡路支部総会において、支部長に選任されました長濱です。

支部長という大役をまかされるとは「晴天の霹靂」といいますか、とても私の任では無いと思っておりますが諸般の事情もあってお受けすることになりました。

平成23年3月に発生した東日本大震災の大津波により、多くの街が流されました。その教訓から、将来発生が予想される南海大地震により、南あわじ市の一部地域では甚大な津波被害が想定されております。土地境界が喪失する懸念から、国土調査を早急に進めており調査士も参画しています。その他の公共事業においても調査士が参画できる分野があると考えます。そういう点を、支部として行政に働き掛けていきたい

と思っています。平成4年入会以来、兵庫会で一番会員の少ない支部ということもあり、その分より一層全員一丸となった運営を実感してきました。入会以来ずっと何らかの仕事を与えられ、支部運営の末端に連なってまいりましたが、歴代支部長及び役員の方々のご尽力・ご努力にはほとほと感服しております。私ではとても及ばぬと思いますが、常に何ができるかを自問自答しつつ、少しでも近づけるよう一所懸命に励む所存です。どうか宜しく願い申し上げます。

淡路島という地理的な特性もあり、職務上は他支部との交わりも少なく、皆様には馴染みが薄いかもしれません。淡路出身の会員・法務局職員の方々も活躍されておられます。本会・法務局等で淡路支部の会員を見かけましたら親しくお声をおかけ下さい。

最後に、淡路支部26名という会員数のなか、ほとんどの方に役員をお願いすることとなりました。支部事情を考慮しお受けいただき感謝するとともに、温かい連帯感を感じています。ありがとうございます。

- ★測量機器販売・調整
- ★測量CADシステム販売・サポート
- ★スキャニングサービス・各種印刷関連 ・製図製本
- ★測量消耗品関連販売



**Total Support**  
トータルサポート

〒651-2135 神戸市西区王塚台3丁目27番地の8 TEL&FAX 078-202-7070

直通連絡：080-2449-2729 担当：中田/PCメール：total-support@zeus.eonet.ne.jp

# 政治連盟だより



政治連盟の平成27年（第15回）定時大会は会員が多数出席して、3月26日（木）に 神戸市中央区の「あすてっぷKOBE」で開催されました。

大会では、平成26年度会務の活動報告、収支決算報告の承認後、以下の平成27年度活動方針が提案承認され、新たな役員を選任も行われました。

## （平成27年度活動方針）

### 1. 組織力の充実強化

会員の積極的参加を求め、組織力強化を図る。

### 2. 広報活動の推進

国会議員・県会議員・市会議員・町会議員への土地家屋調査士制度の啓蒙に取り組むと共に、内外に対する広報活動の充実を図る。

### 3. 本会等との連携

本会、その他の団体との綿密な連携をとり、活動の充実を図る。

### 4. 全調政連、近ブロ各政治連盟との積極的な連携

土地家屋調査士法改正や不明土地所有者問題等、積極的な情報交換を図り、協調に努める。

### 5. 国会議員・県会議員への制度充実に向けた協力支援要請

地方公共団体の公共調達の適正化、狹隘道路事業の

拡充、公図及び地積測量図等の無料化、地籍調査事業にかかる理解等、制度充実に向けた協力支援を要請する。

## 6. 市町事業と連携に向けた活動

地籍調査事業及び空家対策の推進等、市の事業にも積極的に活動すべく、県会及び一部市会議員との連携を強化する。

## 兵庫県土地家屋調査士政治連盟役員

会長 津村 章浩（神戸）

副会長 橋詰 繁美（尼崎） 柏木 哲夫（神戸）

幹事長 高瀬 義廣（東播）

会計責任者 赤藤 健治（姫路）

会計責任者職務代行者 大平祐規子（神戸）

副幹事長 三嶋 裕之（神戸） 樋口 敦仁（神戸）

祝 昌克（阪神） 中井 富子（伊丹）

瓜生 哲也（尼崎） 山本 剛（姫路）

中西 勉（加古川） 山端 一寿（明石）

堀 次夫（西播） 岸部 勇（但馬）

甲山 正則（東播） 山口 昌志（淡路）

監事 小山 光俊（明石） 藤原 亮一（神戸）

濱田 実（姫路）

名誉会長 天野 直 相談役 斉藤 雄一

今後の活動としまして、6月以降に「空家等対策の推進に関する特別措置法」において土地家屋調査士が関与することで同法律が適切に実施されることを目的とした提言書を、顧問議員を通じて各政党へ提出予定であります。

同法案に関連しまして、神戸支部では、神戸市及び芦屋市へ同法案に対する付帯決議に関する意見書を提

出しており、同提言書には支部長名は勿論のこと、本会理事会・政治連盟幹部会の承認を得て、両団体の会長名も併記しており、政治連盟、本会、支部が連携して数々の意見を反映させた提言書となっております。

今後、各支部においても同様の活動が進められると共に、近々に開催予定の各政党の政策要望懇談会（自民党・公明党）においても働きかけを行ってまいります。

また、関連事項として、兵庫既存住宅活性協議会が「空き家の総合相談窓口」を設けており、顧問議員の助言から同協議会の構成員としての参加要請があり、対応を本会に依頼しました。

このように土地家屋調査士制度の充実、発展を図り、国民の権利の明確化、擁護に寄与し、土地家屋調査士の地位向上を図るために政治活動を行う、政治連盟の目的からして、各党議員連盟との連携強化は必要不可欠で、各議員の政策セミナー等には積極的効果的な活動運動を展開しています。

国家資格の中で土地家屋調査士は揺るぎない確かな資格ではありますが、知名度はまだ低く政治連盟の活動をする中で、隣接士業団体との接触、業際問題等否応なく危機感が迫ってまいります。こうした厳しい現実、土地家屋調査士制度を理解して、ご尽力いただいている議員との交流を深めること、勉強会、政策要望懇談会等は極めて重要な場であります。また、政策セミナーへの参加はPRの場でもあり積極的に力強く、努めて参ります。

#### 兵庫県土地家屋調査士政治連盟顧問

衆議院議員	西村 康稔
衆議院議員	藤井 比早之
衆議院議員	盛山 正仁
衆議院議員	赤羽 一嘉
衆議院議員	松本 剛明
参議院議員	鴻池 祥肇
参議院議員	末松 信介
県会議員	加田 裕之
県会議員	上田 良介
県会議員	黒川 治
県会議員	幣原 都
県会議員	内藤 兵衛
県会議員	森脇 保仁
県会議員	吉岡 健
県会議員	野口 裕
県会議員	松田 一成

(兵庫県土地家屋調査士政治連盟  
副会長 柏木 哲夫)





## スタティック・RTK・DGPSまで、 全ての観測フィールドに対応！



**ハンドヘルド GNSS 受信機**

# GRS-1

- ・ 770g の超軽量 GNSS 受信機
- ・ 携帯通信モジュール内蔵
- ・ 充実のチャンネル数 226ch
- ・ コンパクトでシンプルな観測スタイルを実現

**株式会社 但谷**  
〒650-0013 神戸市中央区花隈町32-8 TEL (078)341-2661

JSIMA  
校正・検査事業者限定取得  
J1801005

トプコン修理認定店  
TTD-2003-034



## そこはかたなく書きつくれば

新しく施した電装品と配線を慎重にテスターを当ててチェックする。ここでミスると最悪車が燃えてしまう。まあヒューズが跳ぶので大丈夫だろうが、バツ直の50Aヒューズは2000円もしたのだ。

慎重にPanasonic caos 46B19Lをプラス極から接続する。第一段階が無事終わり、緊張の中エンジンをかける。ACCがオンになった時点でほとんどの機器にスイッチが入る。アンプのゲイン調整のため、ボリュームはほぼ最大になっている。アンプとフロントスピーカーはALPINE。音がウェットすぎると感じたためリアスピーカーはJBL。なぜかウーファーはJVC。無事起動するはず。スイッチング電源を使ったテストでは無事起動し、初期設定も済ませている。

エンジンをかけて5秒後、8.4inモニターに電源が入り、Windowsのロゴが現れる。緊張のとける中XPが立ち上がり、大音量で起動音が鳴り響いた。

「お帰りなさいませ、ご主人様」

嫁が玄関から飛び出してきた。

「今恥ずかしい音声流れなかった!？」

システム音声変更してるの忘れてた・・・

今から10年程前、開業して何年かたったころ、仕事に使いにくかったスポーツタイプの車を処分し、次の車どうしようかなと思っていたとき、車屋の友人に旧いワゴンRをもらった。前の持ち主が土手に止めてたらひっくり返って落ちていたとのことで傷だらけ。「5000円で頂戴」「タダでいいよ」

搭載量は大きく仕事には充分。しかし下位グレードで窓すら手動。さすがに不便とキーレスエントリーを組込み、小排気量MTには必須とタコメータ、ついでに電圧計を増設、ETCも取り付けした。(ちなみに自分で取り付けしたETCで始めて料金所を通過するのなかなかの緊張感でした) アンプ、スピーカを取り付けたあと、ふとPCを組み込もうと思いついてしまった。どうせバツ直で室内に電源引き込むわけだし、と。ネットで検索すると

通電5秒後スイッチの入る電源ユニットが見つかった。そして小型のマザーボードはカーオーディオ規格に収まる175mm。「やるしかないやろ」頭の中でろくでもない声がささやいた。

こうして組み込まれたPCは出先で委任状などちょっとした書類が必要なきには活躍してくれている。作成してPDF化、すぐコンビニで印刷できるのはかなり便利である(ちょっと小さくなるが)。ノート持っていればいいのでは、と思った方も居るかもしれない。でも思いついちゃったものは仕方ない、そして作っちゃったものは活用しないと仕方ないのだ。あまり突っ込まないでください泣きたくなるから。

通常はハイバネーションモードでオーディオ代わりに使用しているため、「恥ずかしい」(嫁・談) 起動音が流れることはない。(さすがにその辺で鳴ったら私も恥ずかしい。が、事務所の仕事用PCは立ち上がると「社長、今日もがんばりましょう」と言ってくれる。Vista以降起動音変更はレジストリいらわないといけないので手間になってしまいました)

あれから年月がたち、車もPCも代替わりしたがいまだPCは車載されている。

モニタは10.4インチになり、ハザードスイッチが見えないため押しにくいことを除けば問題なく運用されている。

ちなみにハザードで思い出しましたが、ご存知のようにこの時期川べりなどでハザードを焚くと蛍が寄ってきます。昔、海辺でデートして蛍見るとおまわりさんが声かけてきました。2回目に声かけてきたとき「さっきも職質受けたんですけどなんかあるんですか?」と聞いてみたところ

「この時期なあ、この辺多いんや、性犯罪」

蛍見物は心洗われるどころか心に重大なダメージを与えることもあるようです・・・て何の話してたんでしたっけ??

(但馬支部 池口 千春)

私の事件簿 シリーズ

「財産区」

伊丹支部  
篁 繁 樹



十年ほど前、墓地に隣接する駐車場の分筆登記の依頼を受けた。その駐車場は空いている区画が多く、舗装も荒れていた。依頼者に話を聞くと、駐車場を借りる人が少なくなったので、分筆して一部を建売業者へ売却、駐車場部分は縮小しようと考えたらしい。

早速隣接地の所有者を登記簿で確認すると、墓地の所有者は「〇〇村」となっていた。〇〇は現在の町名と同じだが、××市に合併する前の旧村名であった。「うーむ、旧村名ではあるが××市には違いないのだから、××市役所に問い合わせるか。」と考え、とりあえず市役所に向かうことに。

墓地を管理する部署で聞いてみると、「通常の（所有者が××市と登記されている）墓地であれば、こちらで境界確認の立ち会い・境界の証明は可能だが、登記簿上の所有者が旧村名になっている場合は＜財産区\*＞の扱いになる。そのため旧村を代表する地元の自治会長の立会が必要で、市役所の担当職員だけでは境界の確認・証明はできない。」とのことであった。

\*財産区：財産区とは、市町村の一部が財産又は公の施設を有することにより一定の既存利益を維持する権利の保全を目的として、一部の地域とその地域内の全ての住民を構成要素とする法律的に認められた特別地方公共団体をいう。具体的には、市町村の行政区画である「大字」とか「町」とかいわれる集落が農業用溜池や地区の墓地等、その地域に限られた利用を目的にした非収益的性格の強い資産を所有してきているものをいう。

そこで自治会長のところに伺うも「昔のことだし、自治会で地代を徴収しているわけでもない。境界もよく分からないので（立会をするという）責任をとれない。」とのつれない答え…。何度か訪問し、分筆登記のためには自治会長の立会が不可欠であることを説明しましたが、自治会長の態度は変わりませんでした。当時は筆界特定制度が始まっておらず、また残地求積が認められなくなった時期でもありました。

登記官に相談して残地求積を特例で認めてもらうか筆界特定の開始を待つかと考えつつ、周辺の土地を調べていると、少し離れた場所に同じく〇〇村所有となっている墓地を発見しました。「〇〇村所有の墓地が二つもあるのか」と驚きながら墓地の周りを地図で確認すると、明らかに分譲したような土地があるではありませんか。調べてみるとやはり分筆して分譲しており、その分筆時期は当時の5～6年前、しかも墓地

に接する部分に分筆線が入っています。墓地に接する部分を残地にしないで分筆できているのだから、立会もしているはずと思って再び市役所へ赴き、担当者へ事情を説明して当時の立ち会い資料を確認させてもらいました。するとその5～6年前の、当時の自治会長が立会をしていることが判明したのです。

そこで現在の自治会長にもう一度会って調べたことを説明し、数代前の自治会長が同じような近隣の墓地の立会に応じていたことを伝え、自治会内で協議してもらえることとなり、その後、立会が実現しました。

しかし、つまり土地（仕事）というのはトラブルが続くものです。

ようやく墓地部分の立会が実現し、他の民有地、道路と順調に立会が進み、道路との筆界点については「既設のコンクリート杭が境界標である」と道路管理者と確認しました。

そして後日、他の未設置の境界標を埋設するため現場へ行ってみると、何と、コンクリート杭の周りのアスファルトが新しくなっているではありませんか…

嫌な予感がして、コンクリート杭と周辺の筆界点や引照点との距離をとってみると、数センチは動いています。道路管理者との立会時に引照点や周辺の構造物との距離を確認していたため、移動後のまま協定図を作成するのも気が引けます。仕方がないので、杭の周りのアスファルトを掘り返して杭が元の位置にくるよう調整し、根巻きして固定することにしました。

元の位置に杭を戻す逆計算のため事務所へ戻ったり、杭の回りのアスファルトを掘るのも手間がかかり、結局は一日仕事になってしまいました。

そして、そこまで苦勞して分筆登記の準備をしたのですが、依頼主との最後の打ち合わせで驚愕の一言が…

「やっぱり分筆せんでもええわ。分筆して一部を売ろうと思っていたけど、そのまま全部借りたいという人が見つかったから。」

え、ええええー！

しかも実測面積が登記簿の地積よりも（それなりに）大きかったため、地積更正登記も申請しないことに。

結局、分筆登記を申請したものと計算した報酬を頂けることにはなりませんが、どうにも虚脱感の漂う幕切れとなったのでした。

# 思いつくままに



伊丹支部  
千桜 高之

## 今年の支部総会での会話

皆さん、お仕事はいかがですか？ 前年の消費税増税前の特需で、久々笑顔が戻った業界も、当然長続きしないで、元の構造不況業種に戻ってしまいました。今年の支部総会が終わり懇親会での雑談で、子育て世代の会員から、貯金のない家庭ですとの嘆きの会話があり、慰めるどころか、わが胸に突き刺さりました。わたしは、昭和29年生まれ61歳です。

参考のため総理府調査を掲載します。

	貯蓄のない家庭	平均値	中央値
20代	40%	183万円	30万円
30代	34%	415万円	130万円
40代	30%	614万円	300万円
50代	29%	1124万円	408万円
60代	28%	1765万円	740万円

嘆く人、安堵する人、色々だと思います。私が昭和61年に開業した当時、目安として扱った土地の、1坪価格相当を、報酬として請求すべきと、先輩の調査士から教わりました。住宅地で、坪100万を下る土地を探すことが困難な時代でした。

様変わりしたもので、今は当時の請求額の6掛けという感じでしょうか。構造不況業種と呼ばれてひさしいです。需要と供給が逆転すれば、成長産業になります。構造不況業種と呼ばれた土木、建設産業が永年の不況で整理淘汰され、供給能力が減少していたところに震災による長期特需及びどこからお金を引っ張るか不明ですが、高度成長期の社会インフラの更新時期を迎えています。今は成長産業です。

わが業界の供給能力は、廃業及び補助者削減等で低下しました。知恵を絞り需要増大させて何とか成長産業になっていただき、私の残された時間は少ないですが、おこぼれで、老後資金を貯めたいものです。

## 川西市の地籍調査

ある依頼者から、平成21年地籍調査で立ち会ったが、いつごろ成果が登記されるのか調べてきてほしいとの依頼を受けました。以前から成果が、備え付けられれば、安価で分筆ができますよ、お急ぎでなければお待ちくださいと返事をしていました。

縦覧から5年を過ぎるので、そろそろと思い、川西市役所都市計画課へ問い合わせると、成果がいつ備え付けられるか不明との回答です。登記所の事前協議で、筆界未定地が多すぎて、送付されても特別扱いと言われているのでしょうか。

川西市はE工程を平成20年度から中央町、平成21年度小花1丁目、2丁目を手掛け市内中心部から順次地籍調査を実施するとの計画ですが、登記所にはまだ1回も送付されていないようです。

私も平成20年中央町の地籍調査にかかわった関係で、不十分な成果についての責任があります。境界紛争なら1筆界ですみませんが、大きな駐車場所所有者の立ち合い拒否のため、廻りの土地すべて筆界未定地になり、地籍図に巨大なブラックホールが出現しました。立ち会い拒否を解消できなければ、都市部の地籍調査事業は進まない。事業の成果を求められる川西市としては、平成22年以降中心部から離れ、郊外で地籍調査事業を実施しています。

依頼者には、何時になるかわかりませんと、お伝えしました。現状に変更がなければ、都市部の地籍調査事業は、官民先行とか準備作業はするけれど、準備作業で終わってしまうのではないのでしょうか。平成15年6月に決定した、民活と各省連携による地図整備の推進、5年で都市部の5割、10年で、地図整備を完成させることになっていた。どこにも中間報告、完了報告がない。これでいいのでしょうか…。



# 鈴鹿8時間エンデューロ挑戦記

兵庫県土地家屋調査士会自転車競技部 (自称)  
副部長 中山 敬一

天気予報では快晴一週間と快晴一週間の間に訪れる唯一の雨だった。そんな5月の最終日、31日に三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットにてロードレーサーなら一度は出てみたい「鈴鹿エンデューロ」に我々「兵庫県土地家屋調査士会自転車競技部 (自称)」のメンバーが挑戦した。

このイベントは国際規格の鈴鹿サーキット (一周5.807km) のフルコースを8時間で何周できるかを競うものだ。我々が挑戦したのはチーム戦。今回は5名の無謀な挑戦者で構成される。併設されるイベントには、4時間耐久と40周、20周のタイムアタックがあり、同時にコース内を走るの時間帯によっては、1050名の競技者がコース上を風となって走っていく姿は見ていても楽しいものである。



何よりも喜びは、あのセナやプロスト、中嶋悟(古い?)らが走ったあの鈴鹿を自分の脚で駆け抜けることだ。ホームストレート、シケイン、バックストレート、スプーン、ヘアピン、デグナー、ダンロップ、S字、複合コーナーが我々自身を迎え入れてくれるのである。ちなみにイベントは通常の逆回りコースなので、先の表記順に走ることになる。

さて、競技の紹介は以上。実際に挑戦した我々の勇姿をご紹介します。

30日の午後に集合した我々は、一路宿泊先である四日市を目指した。鈴鹿市のお隣の市である。なにせ初めてのイベント参加なので鈴鹿に宿を確保していないのはご

愛嬌。おかげで到着後四日市の繁華街で飲み歩く。もちろんセーブはしているし、体力勝負なのでそこはアスリート並みの食事管理をさせていただいた。

当日は午前2時半起床、3時半出発。受付開始が午前5時と聞かされていたからだ。車2台に詰め込んだロードバイク5台を降ろし、サーキット入り口まで2kmほどを押して歩く。この時点ではだんだんと近づくサーキットのスケールの大きさに、脳内アドレナリンが吹き出して元氣いっぱい。サーキット内に入場し、選手用テントの一角を確保(トイレや売店に近い抜群の位置)。8時スタートまでの2時間ほどを今か今かと待ちわびるこの時、5時30分。

午前6時15分、いよいよ試走開始。サーキットを初めて走る人向けに1時間ほどのフリー走行が許された。まず早速コースインしたのが競技部長の井本会員。井本会員は他のメンバーとの温度差が少しあるものの、率先してこのイベントを段取りしてくれた。待ちわびた瞬間なのだろう。他の4人がテント下でグダグダしていると、興奮した顔で戻ってきたのだ。私も続けと他のメンバーもコースイン。心地よい朝風と、綺麗な路面に大興奮した一周であった。(この時点でもアドレナリンが全開。しかもウォーミングアップを全力で挑むという大誤算が後々の悪夢を生むことになる。)

1チームを5名で構成したので出走順を書いておく。  
①神戸支部 井本会員、②明石支部 中山会員(筆者)、  
③明石支部 鬼頭会員、④神戸支部 安西会員、⑤神戸支部 部屋会員。

先に言った1000名以上がほぼ同時にスタートする混戦模様なので、スタートは自転車競技ベテランの井本会員にお願いした。ご存知のかたもいるかもしれないが、自転車とは言え我々の乗るロードレーサーは最高時速で60kmをゆうに超える。そんなロードレーサーが数十センチの間隔で、何十台何百台も走ると、常に危険と隣り合わせとなる。そんな8時00分、いよいよ8時間耐久の幕があがった。

当初は二周ずつ交代で一巡。約12kmを全力で20から



25分程度で走る格好となる。8時21分過ぎによいよ私に順番が回ってきた。左足首に計測センサーを巻いてピットスタート。シケイン方向に向かってスタートした。鈴鹿のホームストレートは東に向かって下り坂。つまりスタートと同時に上り坂である。スピードが乗らない。心拍数だけがいきなり跳ね上がる。シケイン（登り坂）に差し掛かる頃には心拍数が190を超えてしまった。私の心拍ゾーンは170前後、195を越えると危険域に入る（笑）。これ以上の無理をせずなんとか交代まで乗り切るには、パフォーマンスを下げざるを得ない。左右から猛スピードで追い抜かれる恐怖に耐えながらなんとかノルマをクリアし、鬼頭会員にバトンタッチ。ここ最近では流したことの無いほどの汗が、バイクを降りた瞬間から流れ落ちた。あわてて水分補給とエネルギーの補給をおこなう。自転車競技はエネルギー補給が肝心であることを興奮のあまり忘れてしまっていたようだ。テントで死んだように椅子に座る走行後の面々。そんな中、回復度が一番早い安西会員から驚きの提案が。

「次から一人三周交代で行きませんか？」

耳を疑うと同時に、その理由を聞いて納得した。二周交代では疲労も少ないが回復の時間（インターバル）も少ない。なるほど。確かに二周では面白いと感じた頃には実は交代のためにピットインをする。あと一周回ればきっと楽しさも深まるはずだ、と思った。ペース配分を組み立て直し、コースインと同時に襲う急坂のシケインをいかに心拍数を上げずに登り切るか、最終コーナーの立ち上がりスピードを落とさずに回り切るか、のポイントを押さえるように心がけたところ、とても気持ちいい周回を重ねることができたようだ。

午後に入ると風がさらに強まり、天気予報を裏切った眩しい太陽がジリジリとコース上の選手を痛めつける。向

かい風と緩やかな登り勾配が続くホームストレートなんて苦行そのものだ。ピットからの送られる他チームの歓声すら煩わしく感じるほどだ。

ところが、ヘアピンコーナーをクリアしたあとに続く高速コーナーとダウンヒルに入ると、先ほどまでの苦行を帳消しにしても有り余るくらいの快感が押し寄せる。これだから自転車はやめられないのである。

午後3時。残り周回時間と交代のタイミングを計算、残り一時間を一人一周で全員交代し、ラスト一周をそれぞれ全力で受け持つか、これまで通りのペースで回るか悩んだ。我々の出した答えは、「あのホームストレートを走らなくていい＝一人一周交代」だった。

それでも全力タイムアタックに近い意気込みで走った。「トレイン」と呼ばれるスピードを上げて一列に並ぶ車列に加わり、空気抵抗をできるだけ抑えて走った。みんな最後は力を絞りきった

午後4時。会場アナウンスがカウントダウンに変わる。参加した選手皆がホームストレートに設けられたゴールラインを目指す選手に熱い声援と拍手を送る。我々調査士チームのアンカーは安西会員だ。午後4時6分、ついに我々のアタックが終わった。長い一日がとうとう終わったのだ。

最終結果は、39周完走、8時間06分24.543秒、トップから12周遅れというものだった。しかし結果よりも、五人全員が怪我なく笑顔でこのイベントを楽しめたことが一番の収穫であった。みなさん本当にお疲れさま。また次回のチャレンジに向けて各自トレーニングに励んでいこう。

最後に、兵庫県土地家屋調査士会自転車競技部（自称）は部員を募集しています。お気軽にご参加下さい。



# 樋口先生 今までありがとう

第13代会長 岸本 八太郎

樋口先生は、昭和52年の入会以来、37年間の永きにわたり関係法令を遵守され業務を行われると共に、昭和54年に神戸支部幹事に就任されて以降、神戸支部長をはじめとした支部役員、本会役員を歴任され、平成15年には本会第十代会長に就任され、二期四年間会務に尽力いただき、土地家屋調査士制度の充実、発展のために寄与されました。

樋口先生のこのたびの突然の訃報に接し、ただただ驚きを隠せないでいます。亡くなられる一週間ほど前に、息子さんから父の容体が良くないからとお聞きし、お見舞いにお伺いする予定をしていた日が無情にも告別式当日となってしまったことは大変残念でなりません。

想えば、樋口先生が会長時代、私は一部員として本会会務に携わっていました。樋口先生は、一部員の私に、一緒に飲むかとよく声をかけてくださいました。ご自身のことより、周りに対しての気配りがさりげなくできる方でした。ある時は、飲みすぎて、私が淡路島行きの最終バスに乗り遅れたとき、今日は家に泊まれとっていただき、朝までビールを飲み交わし、始発の電車で帰ったことが思い出されます。

皆様もご周知のとおり、樋口先生は温和でなおかつ厳しい一面で会務運営に尽力され、制度の発展に貢献



され我々後輩を導いていただきました。

平成23年にはその功績により黄綬褒章が授与されました。黄綬褒章は多年にわたり業務に精励し、他の人の模範となる方に授与される褒賞であります。このことは、本人はもとより本会としても大変名誉なことでした。祝賀会では当時の竹内連合会会長をはじめ、松岡連合会名誉会長、その他、多くの来賓の皆様の祝福を受けられたことが思い出されます。

今後もご活躍されることとと思っていましたが本当に残念でなりません。

樋口先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



# 部会・委員会報告

自 平成27年1月1日  
至 平成27年6月30日

総務部			
開催日	行事名	場所	議題等
1月5日(月)	新入会員面談	本会会議室	2名
1月5日(月)	法務局新年挨拶	神戸地方法務局	岸本会長、橋詰・安居・河嶋各副会長、関和総務部長出席
1月9日(金)	新入会員面談	本会会議室	1名
1月14日(水) ～1月15日(木)	全国会長会議	東京ドームホテル	岸本会長出席
1月14日(水)	日調連新年賀詞交歓会	東京ドームホテル	岸本会長出席
1月16日(金)	登録証交付	本会会議室	2名
1月17日(土)	災害安否確認訓練	本会会議室	橋詰・安居・河嶋各副会長、関和総務部長出席
1月22日(木)	新入会員面談	本会会議室	3名
1月22日(木)	総合役員会	本会会議室	本会ホームページへの補助者募集情報の掲載について他
1月29日(木)	登録証交付	本会会議室	1名
2月4日(火)	新入会員面談	本会会議室	2名
2月4日(火)	常任理事会	本会会議室	平成26年度事業の進捗状況について他
2月5日(木)	登録証交付	本会会議室	3名
2月5日(木)	自由業団体連絡協議会	弁護士会館	岸本会長、岡田広報部長出席
2月5日(木)	司法書士会との連絡協議会	木曾路	岸本会長、橋詰・安居・河嶋各副会長、山本業務部長出席
2月10日(火)	近プロ近畿各会・正副会長会議	琵琶湖ホテル	岸本会長、橋詰・安居・河嶋各副会長、福岡・黒田・藤井各連合会委員出席
2月16日(月)	新入会員面談	本会会議室	2名
2月16日(月)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成26年度事業報告について他
2月20日(金)	新入会員面談	本会会議室	1名
2月25日(水)	登録証交付	本会会議室	1名
3月2日(月)	新入会員面談	本会会議室	1名
3月3日(火)	近プロ正副会長会議	大阪会館	岸本会長出席
3月5日(木)	近プロ総務部会	大阪会館	関和総務部長出席
3月10日(火)	登録証交付	本会会議室	3名
3月10日(火)	新入会員面談	本会会議室	1名
3月10日(火)	鈴木弁護士来会	本会会議室	岸本会長、橋詰・安居副会長、関和総務部長出席
3月10日(火)	常任理事会	本会会議室	平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画、予算案について他
3月12日(木)	登録証交付	本会会議室	1名
3月12日(木)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成27年度事業計画、予算案について他
3月14日(土)	登録証交付	本会会議室	1名
3月21日(土)	中村秀紀氏黄綬褒章受章記念祝賀会	クサツエストピアホテル	岸本会長、橋詰・安居・河嶋各副会長出席
3月23日(月)	行政書士会との連絡協議会	行政書士会館	安居副会長、関和総務部長、山本業務部長出席
3月26日(木)	理事会	本会会議室	平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画、予算案について他
3月26日(木)	兵庫県土地家屋調査士政治連盟第15回定時大会	あすてっぶ神戸	岸本会長出席
3月31日(火)	法務局次長退任あいさつ	本会会議室	岸本会長、橋詰・安居両副会長出席
4月1日(水)	弁護士会新役員あいさつ	本会会議室	岸本会長、橋詰・安居両副会長出席
4月3日(金)	法務局次長就任あいさつ	本会会議室	岸本会長、橋詰副会長出席
4月8日(水)	登録証交付	本会会議室	1名
4月8日(水)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成26年度証票特別会計繰越金の処分案について他
4月8日(水)	常任理事会	本会会議室	決算監査について他
4月10日(金)	淡路支部総会	夢海游淡路島	岸本会長出席

# 部会・委員会報告

自 平成27年1月1日  
至 平成27年6月30日

総務部			
開催日	行事名	場所	議題等
4月17日(金)	西播支部総会	赤とんぼ荘	安居副会長出席
4月18日(土)	東播支部総会	西脇ロイヤルホテル	河嶋副会長出席
4月21日(火)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成27年度定時総会の運営について他
4月23日(木)	但馬支部総会	西村屋 ホテル招月庭	岸本会長出席
4月24日(金)	神戸支部総会	生田神社社会館	安居副会長出席
4月24日(金)	阪神支部総会	西宮神社社会館	山本業務部長出席
4月24日(金)	伊丹支部総会	三田ホテル	中井社会事業部長出席
4月24日(金)	尼崎支部総会	尼崎中小企業センター	橋詰副会長出席
4月24日(金)	加古川支部総会	加古川プラザホテル	岡田広報部長出席
4月24日(金)	明石支部総会	西明石ホテルキャッスルプラザ	河嶋副会長出席
4月30日(木)	姫路支部総会	総社会館	河嶋副会長出席
4月30日(木)	中部ブロックとの懇談会	京都会会館	岸本会長出席
5月7日(木)	近プロ正副会長会議	大阪会会館	岸本会長出席
5月7日(木)	近プロ正副会長・部会長会議	大阪会会館	岸本会長、橋詰副会長出席
5月9日(土)	総務部会	本会会議室	平成27年度定時総会の運営について他
5月12日(火)	常任理事会	本会会議室	定時総会の運営について他
5月12日(火)	名誉会長・相談役・参与会	本会会議室	平成26年度の会務報告並びに平成27年度の会務方針について他
5月13日(水)	兵庫県司法書士会総会	ANAクラウンプラザホテル神戸	岸本会長出席
5月15日(金)	全日本不動産協会兵庫県本部総会	ANAクラウンプラザホテル神戸	安居副会長出席
5月21日(木)	兵庫県建築士事務所協会総会	ANAクラウンプラザホテル神戸	岸本会長出席
5月22日(金)	総務部会	本会会議室	平成27年度定時総会の運営について他
5月22日(金)	理事会	本会会議室	平成27年度定時総会の議事について他
5月25日(月)	兵庫県弁護士会定時総会	ANAクラウンプラザ神戸	安居副会長出席
5月26日(火)	兵庫県行政書士会総会	神戸ポートピアホテル	橋詰副会長出席
5月27日(水)	第74回 定時総会	ANAクラウンプラザ神戸	242名出席
5月28日(木)	兵庫県宅地建物取引業協会総会	ANAクラウンプラザ神戸	岸本会長出席
5月29日(金)	常任理事会構成員予定者会議	本会会議室	第1回総合役員会開催に向けて他
5月29日(金)	兵庫県社会保険労務士会総会	ホテルオークラ神戸	橋詰副会長出席
6月2日(火)	兵庫県不動産鑑定士協会総会	ANAクラウンプラザ神戸	岸本会長出席
6月4日(木)	近畿税理士会神戸支部総会	エスタシオン・デ・神戸	安居副会長出席
6月5日(金)	近プロ各会新旧会長会議	大阪会会館	岸本会長出席
6月12日(金)	法務局あいさつ	神戸地方法務局	岸本会長、橋詰・安居・三嶋・中井各副会長、山本総務部長出席
6月12日(金)	新入会員面談	本会会議室	2名
6月12日(金)	総合役員会	本会会議室	副会長及び理事の担当する業務範囲の指定案について他
6月16日(火) ～6月17日(水)	連合会 第72回 定時総会	東京ドームホテル	岸本会長、橋詰・安居・三嶋・中井各副会長出席
6月18日(木)	総務・財務合同部会	本会会議室	業務引き継ぎについて他
6月25日(木)	登録証交付	本会会議室	1名
6月25日(木)	日本公認会計士協会兵庫県総会	ANAクラウンプラザ神戸	安居副会長出席

# 部会・委員会報告

自 平成27年1月1日  
至 平成27年6月30日

財 務 部			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
1月22日(木)	監事会	本会会議室	事業及び予算の適正な執行について他
2月16日(月)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成26年度事業報告について他
3月12日(木)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成27年度事業計画、予算案について他
3月19日(木)	近プロ財務部会	大阪会館	三嶋財務部長出席
4月8日(水)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成26年度証票特別会計繰越金の処分案について他
4月8日(水)	特別基金運営委員会・大会一時金配分委員会	本会会議室	平成26年度証票特別会計繰越金の処分について他
4月14日(火)	監事会	本会会議室	決算監査について他
4月14日(火)	決算監査	本会会議室	平成26年度決算監査
4月21日(火)	総務・財務合同部会	本会会議室	平成27年度定時総会の運営について他
6月12日(金)	監事会	本会会議室	筆頭監事の選任について他
6月18日(木)	総務・財務合同部会	本会会議室	業務引き継ぎについて他

業 務 部			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
1月29日(木)	業務部会	本会会議室	表示登記研究会・事務連絡会回答の精査について他
2月16日(月)	法務局との打合せ会	神戸地方法務局	山本業務部長、渡邊業務副部長出席
2月26日(木)	近プロ業務部会	本会会議室	岸本会長、橋詰副会長、山本業務部長出席
3月3日(火)	認定登記基準点に関する打合せ会	大阪会館	岸本会長、橋詰副会長、山本業務部長、高見技術対策委員長、西村技術対策委員出席
3月6日(金)	西宮市登記基準点データ入力作業	本会会議室	高見情報管理室長、鬼頭室員出席
3月6日(金)	情報管理室会議	本会会議室	大阪会との基準点管理システム打合せについて他
3月6日(金)	大阪会との基準点管理システム打合せ会	本会会議室	現状報告他
3月10日(火)	大阪市における登記備付地図作成に関する説明会	大阪会館	渡邊業務副部長、門脇社会事業副部長出席
3月14日(土)	地籍問題研究会平成27年度通常総会・第12回定例研究会	東京・中央工学校	橋詰副会長出席
3月19日(木)～3月20日(金)	日調連研究所平成25～26年度「研究報告会」	土地家屋調査士会館	高橋研修部長出席
4月22日(水)	法務局との打合せ会	神戸地方法務局	橋詰副会長、山本業務部長、渡邊業務副部長出席
6月29日(月)	業務・研修合同部会	本会会議室	今年度の事業について他

広 報 部			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
2月25日(水)	広報部小会議	中山部員事務所	来年度事業計画及び予算について他
3月12日(木)	近プロ広報部会	大阪会館	岡田広報部長出席
3月23日(月)	立命館大学寄付講座講師会議	大阪会館	井本会員出席
4月22日(水)	自由業団体合同相談会打合せ会	弁護士会館	菊田広報副部長、中山広報部員出席
5月21日(木)	法務局総務課長来会	本会会議室	岸本会長出席
6月19日(金)	自由業団体合同相談会打合せ会	弁護士会館	中山広報部長、菊田広報副部長出席
6月25日(木)	広報・社会事業合同部会	本会会議室	今年度の事業について他

研 修 部			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
1月24日(土)～1月25日(日)	近プロ新人研修会	ホテルコスモスクエア国際交流センター	15名受講

# 部会・委員会報告

自 平成27年1月1日  
至 平成27年6月30日

研 修 部			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
2月6日(金) ～2月8日(日)	第10回ADR特別研修(基礎)	大阪会館	7名受講
2月20日(金)	研修部会	本会会議室	今年度事業の総括について他
2月20日(金)	第3回業務研修会	神戸産振センター	176名受講
3月5日(木)	近プロ研修部会	大阪会館	高橋研修部長出席
3月13日(金) ～3月14日(土)	第10回ADR特別研修(集合)	大阪会館	7名受講
3月15日(日)	第10回ADR特別研修(総合)	大阪会館	7名受講
4月4日(土)	第10回ADR特別研修 考査	大阪会館	7名受講
5月9日(土)	測量研修会(座学)	本会会議室	30名受講
5月15日(金)	測量研修会(実習)	しあわせの村	31名受講
5月16日(土)	測量研修会(実習)	本会会議室	31名受講
6月29日(月)	業務・研修合同部会	本会会議室	今年度の事業について他

社 会 事 業 部			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
1月16日(金)	社会事業部会	本会会議室	平成27年度の事業計画について他
1月19日(月)	まちづくり実行委員会	司法書士会館	三嶋委員出席
1月22日(木)	神戸調停協会模擬調停	司法書士会館	4名出席
1月31日(土)	阪神・淡路まちづくり支援機構 阪神淡路20年事業 (1.17～3.11来たるべき災害 に備える連携力～土業の社会的 役割を考える～)	弁護士会館	7名出席
2月2日(月)	阪神・淡路まちづくり支援機構 事務局委員会	弁護士会館	三嶋・中井両委員出席
2月18日(水)	近プロ社会事業部会	大阪会館	中井社会事業部長出席
2月28日(土)	筆界特定の効果についての勉強会	京都産業大学	門脇社会事業副部長、阪本社会事業部員出席
3月1日(日)	阪神・淡路まちづくり支援機構 相談会 (城崎温泉火災ワンパック相談会)	城崎文芸会館	中井委員、池口会員出席
3月10日(火)	大阪市における登記備付地図作 成作業に関する説明会	大阪会館	渡邊業務副部長、門脇社会事業副部長出席
3月12日(木)	阪神・淡路まちづくり支援機構 臨時事務局委員会	弁護士会館	三嶋・中井両委員出席
3月25日(水)	阪神・淡路まちづくり支援機構 事務局委員会	神戸納税協会館	三嶋・中井両委員出席
5月28日(木)	まちづくり事務局委員会	弁護士会館	三嶋・中井両委員出席
6月25日(木)	筆界特定室訪問	神戸地方法務局	三嶋副会長、高橋社会事業部長出席
6月25日(木)	広報・社会事業合同部会	本会会議室	今年度の事業について他

技 術 対 策 委 員 会			
開 催 日	行 事 名	場 所	議 題 等
1月7日(水)	登記基準点設置事業に関する打合せ	丹波市役所春日庁舎	高見技術対策委員長、岸部支部長出席
1月14日(水)	登記基準点現地視察・協力依頼	丹波市役所本庁舎・ 春日庁舎	橋詰副会長、高見技術対策委員長、黒田顧問、山本業務部長、岸部支部長出席
1月20日(火)	登記基準点設置事業のための道 路台帳交付申請	丹波県民局庁舎・丹 波土木事務所	岸部支部長出席

# 部会・委員会報告

自 平成27年1月1日  
至 平成27年6月30日

技術対策委員会			
開催日	行事名	場所	議題等
1月21日(水)	登記基準点設置作業	丹波市氷上町	高見技術対策委員長、山本業務部長出席
1月29日(木)	技術対策委員会	本会会議室	但馬支部2級登記基準点について他
2月24日(火)	登記基準点設置にかかる埋標作業	丹波市	高見委員長、石塚副委員長、大西委員出席
3月12日(木)	認定登記基準点設置にかかる実務研修会	丹波市	20名出席
3月25日(水)	技術対策委員会	本会会議室	認定登記基準点設置にかかる解析作業について他
4月22日(水)	測量研修会打合せ会	本会会議室	平成27年度測量研修会の実施研修について他
4月30日(木)	技術対策委員会	しあわせの村	平成27年度測量研修会の現地確認及び打合せ他

支部長会			
開催日	行事名	場所	議題等
1月21日(水)	近畿各会支部長会議長等交流会	大阪会会館	樋口支部長会議長出席
1月22日(木)	支部長会	神戸支部事務所	各支部の情報交換他
2月14日(土)	支部長会	洲本市	本会からの付議事項について他
4月8日(水)	支部長会	本会会議室	各支部の情報交換他
6月12日(金)	支部長会	本会会議室	正副議長の選任について他

境界問題相談センターひょうご			
開催日	行事名	場所	議題等
1月14日(水)	推進委員会	本会会議室	運営状況報告他
1月20日(火)	運営委員会	本会会議室	運営状況報告他
1月22日(木)	神戸調停協会模擬調停	司法書士会館	4名出席
3月10日(火)	運営委員会	本会会議室	運営状況報告他
3月14日(土)	センター研修会	本会会議室	36名受講
4月22日(水)	推進委員会	本会会議室	運営状況報告他
6月2日(火)	推進委員会班会議	本会会議室	センター研修会について他
6月9日(火)	運営委員会	本会会議室	運営状況報告他

選挙管理委員会			
開催日	行事名	場所	議題等
2月25日(水)	選挙管理委員会	本会会議室	正副委員長の選任について他
4月28日(火)	選挙管理委員会	本会会議室	役員の上候補の受付状況について他

## 登記書類専門

【土地家屋調査士】  
【司法書士】 書類印刷販売

有限会社 **旭印刷**

- ◎ 申請書、図面、表紙、その他1種類  
1000枚以上貴名入サービスいたします
- ◎ ワープロ用白紙色々在庫しております  
見本請求して下さいお送りいたします。

〒535-0002 大阪市旭区大宮4丁目15番13号  
TEL (06) 6953-1266番  
FAX (06) 6953-1434番  
振替口座大阪00980-7-121433

# 会員の動向

平成27年6月30日現在

## ○入会届

支 部 加 古 川 入会年月 H 27 ・ 1 ・ 13		きたうら むねあき <b>北浦 宗明</b> 登 録 番 号 2 4 4 7 会 員 番 号 1 9 1 0	事務所 〒675-0057 加古川市東神吉町神吉823-178 TEL 079 (431) 1195 FAX 079 (431) 1196 E-mail	測
支 部 神 戸 入会年月 H 27 ・ 1 ・ 13		まえかわ ゆたか <b>前川 豊</b> 登 録 番 号 2 4 4 8 会 員 番 号 1 9 1 1	事務所 〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目17-1 TEL 078 (747) 0969 FAX 078 (747) 0878 E-mail katayu00@hotmail.com	測補
支 部 明 石 入会年月 H 27 ・ 1 ・ 20		うめだ ひろと <b>梅田 啓人</b> 登 録 番 号 2 4 4 9 会 員 番 号 1 9 1 2	事務所 〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬507 TEL 078 (974) 5566 FAX 078 (974) 5567 E-mail h_umeda.sokken@ymail.plala.or.jp	測
支 部 尼 崎 入会年月 H 27 ・ 2 ・ 2		ふしや あきひさ <b>伏屋 晃久</b> 登 録 番 号 2 4 5 0 会 員 番 号 1 9 1 3	事務所 〒661-0974 尼崎市若王寺2丁目31-2 TEL 06 (6493) 6696 FAX 06 (6498) 0443 E-mail	
支 部 姫 路 入会年月 H 27 ・ 2 ・ 2		こまつ たつや <b>小松 達也</b> 登 録 番 号 2 4 5 1 会 員 番 号 1 9 1 4	事務所 〒670-0953 姫路市三条町1丁目74 サン・シティー21-2F TEL 079 (282) 6806 FAX 079 (281) 6500 E-mail komatsu-tatsuya@ac.auone-net.jp	測補
支 部 神 戸 入会年月 H 27 ・ 2 ・ 2		いわもと たかし <b>岩本 考史</b> 登 録 番 号 2 4 5 2 会 員 番 号 1 9 1 5	事務所 〒655-0032 神戸市垂水区星が丘3丁目6-18 TEL 078 (708) 8807 FAX 078 (708) 8808 E-mail tks@iwmt-office.com	
支 部 東 播 入会年月 H 27 ・ 2 ・ 20		まんなみ こうぞう <b>萬浪 弘三</b> 登 録 番 号 2 4 5 3 会 員 番 号 1 9 1 6	事務所 〒675-1371 小野市黒川町1718 TEL 0794 (70) 8634 FAX 0794 (62) 0217 E-mail mannami@ihome07.com	建
支 部 加 古 川 入会年月 H 27 ・ 3 ・ 2		まつおか ひろゆき <b>松岡 博之</b> 登 録 番 号 2 4 5 4 会 員 番 号 1 9 1 7	事務所 〒675-0039 加古川市加古川町粟津157 TEL 079 (422) 1002 FAX 079 (422) 0234 E-mail	測

# 会員の動向

平成27年6月30日現在

支部 姫路 入会年月 H27.3.2		きど ふみあき <b>城戸 文昭</b> 登録番号 2455 会員番号 1918	事務所 〒670-0901 姫路市西二階町59 TEL 079 (288) 7111 FAX 079 (224) 6731 E-mail kido@landmark-legal.net	測補
支部 加古川 入会年月 H27.3.2		ふじもと えいぞう <b>藤本 栄造</b> 登録番号 2456 会員番号 1919	事務所 〒676-0011 高砂市荒井町小松原5丁目8-26 TEL 079 (443) 2426 FAX 079 (443) 7803 E-mail fujimoto@advance1999.com	行測
支部 尼崎 入会年月 H27.3.2		くすはら のぶひろ <b>楠原 伸啓</b> 登録番号 2457 会員番号 1920	事務所 〒660-0803 尼崎市長州通1丁目3-1 川端ビル4階 北号室 TEL 06 (6481) 2620 FAX 06 (6481) 2630 E-mail kusuhara@alpha.ocn.ne.jp	測補
支部 神戸 入会年月 H27.3.10		さいとう あきひと <b>齋藤 秋人</b> 登録番号 2458 会員番号 1921	事務所 〒650-0015 神戸市中央区多聞通1丁目1-4 TEL 078 (382) 0552 FAX 078 (382) 0552 E-mail a-saito@kdt.biglobe.ne.jp	測補
支部 西播 入会年月 H27.4.1		ふくaura しんすけ <b>福浦 真介</b> 登録番号 2459 会員番号 1922	事務所 〒678-0201 赤穂市塩屋2656-1 TEL 0791 (42) 1798 FAX 0791 (42) 1797 E-mail shinsuke@opal.ocn.ne.jp	測
支部 神戸 入会年月 H27.6.22		きしもと くにはろ <b>岸本 邦裕</b> 登録番号 2460 会員番号 1923	事務所 〒650-0063 神戸市中央区多聞通2丁目5-15 TEL 078 (341) 7233 FAX 078 (351) 0929 E-mail	測補

## ○名簿記載事項変更・訂正

登録番号	会員番号	会員名	名簿記載事項	支部	名簿頁
2127	1589	高橋 計二	(E-mail) tk2@k-milestone.com	尼崎	62
1895	1351	松原 洋一	(E-mail) matyou1957@gmail.com	神戸	30
1442	876	中西 秀一	(E-mail) n-office2006@office.eonet.ne.jp	但馬	128
2183	1646	藤井 秀樹	(E-mail) h.fujii@lhi.jp	神戸	2、28
1917	1374	村尾 雄三	(E-mail) murao-of@spice.ocn.ne.jp	但馬	129
1583	1027	佐脇 啓修	(E-mail) hiro-sawaki.jim@zeus.eonet.ne.jp	神戸	20

# 会員の動向

平成27年6月30日現在

## ○名簿記載事項変更・訂正

登録番号	会員番号	会員名	名簿記載事項	支部	名簿頁
2402	1865	竹内 尚	(E-mail) seiho@carrot.ocn.ne.jp	西播	115
2325	1789	北川 昌彦	(E-mail) k_masa69@yahoo.co.jp	西播	112、114
2153	1615	吉良 守史	(兼業資格) 測量士	加古川	92
2076	1538	島本 一幸	(E-mail) simamoto50@hotmail.com	伊丹	49、53
2138	1600	濱口 雄裕	(E-mail) thamaguchi@db3.so-net.ne.jp	淡路	141

## ○お詫びと訂正

会報HYOGO1月号(No.552)の会員の動向(P43)に掲載しました会員情報に一部誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。

登録番号	会員番号	会員名	名簿記載事項	支部	名簿頁
2445	1908	田中 計機	(事務所) 丹波市柏原町柏原1444-1 サーティーセブン2階 (E-mail) tanaka-chousashi@view.ocn.ne.jp	但馬	130

## ○事務所変更届

登録番号	会員番号	会員名	事務所	電話・FAX	支部	名簿頁
2224	1688	福地 正和	〒650-0037 神戸市中央区明石町48	TEL 078 (325) 3588 FAX 078 (325) 3589	神戸	12、28
2225	1689	和田 慶太	〒650-0037 神戸市中央区明石町48	TEL 078 (325) 3588 FAX 078 (325) 3589	神戸	9、34
2293	1757	竹田 亨	〒651-1232 神戸市北区松が枝町2丁目 1-24-202	TEL 078 (597) 7072 FAX 078 (597) 7079	神戸	10、22
2264	1728	本岡 明仁	〒675-0063 加古川市加古川町平野 449-1	TEL 079 (490) 3186 FAX 079 (490) 3187	加古川	88、96
1946	1404	大手 信明	〒657-0025 神戸市灘区高德町4丁目 3-3	TEL 078 (811) 1848 FAX 078 (811) 1842	神戸	15
2296	1760	床次 美幸	〒661-0003 尼崎市富松町1丁目47-3	TEL 06 (6427) 1511 FAX 06 (6427) 1512	尼崎	63
2183	1646	藤井 秀樹	〒658-0082 神戸市東灘区魚崎北町 1丁目5-11	TEL 078 (262) 1694 FAX 078 (262) 1695	神戸	2、28
2275	1739	佐藤 圭介	〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通 6丁目2-6 E1	TEL 変更なし FAX 変更なし	神戸	11、20
1583	1027	佐脇 啓修	〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目 24-15	TEL 変更なし FAX 変更なし	神戸	20
2169	1631	西 康太郎	〒655-0024 神戸市垂水区御霊町3-26	TEL 078 (955) 6473 FAX 078 (955) 6968	神戸	25
2326	1790	折田 真一	〒670-0064 姫路市東夢前台3丁目118	TEL 079 (294) 2971 FAX 079 (297) 3696	姫路	70、74

# 会員の動向

平成27年6月30日現在

## ○退会届

登録番号	会員番号	会員名	退会年月日	事由	支部	名簿頁
1869	1324	前田 邦博	H27.2.19	廃業	神戸	29、167
2244	1708	出田 啓之	H27.2.27	退会	姫路	72、158
2315	1779	藤本 隆大	H27.2.27	退会	明石	107、166
1536	971	谷 隆雄	H27.3.31	退会	但馬	127、163
2422	1885	吉峯 仁	H27.5.20	退会(東京会へ)	神戸	33、169
1716	1160	増田 定	H27.6.30	廃業	加古川	96、167

## ○法人事務所設置

支部	L & P 土地家屋調査士法人		従	法人番号	12-0027-14-0006
神戸	事務所	〒650-0037 神戸市中央区明石町48			
設置年月日	TEL	078 (325) 3588	FAX	078 (325) 3589	
H27.1.1	社員名	福地 正和			

～訃報～ つつしんでご冥福をお祈りいたします。



神戸支部 樋口 幹典 殿(享年67歳)  
は、平成27年3月29日にご逝去されました。

(昭和52年4月4日入会)

**FUKUI COMPUTER**

フィールドワークからオフィスワーク、  
データの管理・活用・連携まで、  
測量業務をフルサポート!

フィールドデザインで日本の未来を創る

豊富な測量計算機能と、それに連動した専用CADで、  
「都市部」「平野部」「山間部」など  
あらゆるフィールドの測量業務に迅速に対応。

**BLUETREND X4 2015**

測量計算CADシステム【ブルートレンド エグザ】

---

データ連携で写真活用!  
調査報告書も簡単に!

**TREND REG/C**

土地家屋調査士事務支援システム【トレンドレジック】

各種データを一元管理。  
調査士業務全般をワンパッケージでサポート。

現場仕様の抜群の操作性!  
情報収集・集約もこの1台!  
さらに成果に直結!  
現況観測はもちろん、  
縦断観測・横断観測も!

軽快なフィールドワークを担う!

**X-FIELD** 新登場!

現場端末システム【クロスフィールド】

---

**福井コンピュータ株式会社**

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・青森・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・岐阜・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

●製品に関するお問い合わせは **0570-550-291**

カスタマサポートセンター【受付時間】9:00~12:00 / 13:00~18:00

\*土曜、日曜、祭日は、弊社指定の休業日は除きます。  
上記ナビダイヤルは福井県坂井市に発信し、着信地までの通話料はお客様のご負担となります。また、通話料金につきましてはマイラインの登録に関わらず、NTTコミュニケーションズからの請求となります。携帯電話からのご利用の場合は20秒ごとに10円の通話料がお客様のご負担となります。

●製品の詳しい情報、カタログのご請求は

<http://const.fukuicompu.co.jp>

# 会員の動向

平成27年6月30日現在

## 新入会員

## アンケート

- ①出身地はどこですか？ ②あなたの住んでいるまちの自慢をしてください。  
 ③現場でのお気に入りランチのお店とメニューを教えてください。  
 ④仕事から帰ってのお楽しみは?? ⑤好きな休日の過ごし方は?  
 ⑥ちょっぴり自慢出来ることを教えてください。  
 ⑦最後に土地家屋調査士としての意気込みをお願いします。



加古川支部  
北浦 宗明

- ①加古川市  
 ②適度に田舎で住みやすいです  
 (加古川市)  
 ③特にないです。  
 ④テレビでの野球観戦  
 ⑤野球  
 ⑥特にないです。  
 ⑦日々努力しががんばります。



神戸支部  
前川 豊

- ①兵庫県篠山  
 ②自然が多く、子育てに向いている  
 と思います(神戸市須磨区)  
 ③北区の「みちくさ」のランチメ  
 ニューはおいしいです。  
 ④小学生の娘2人と遊ぶことです。  
 ⑤友人達とフットサルをたまにや  
 るのが楽しいです。  
 ⑥仕事にも使用している愛車の走行距離が20万kmを  
 超えました(笑)。  
 ⑦何分にもまだまだ未熟者ですが今後ともご指導のほ  
 どお願いします。



明石支部  
梅田 啓人

- ①加古川市  
 ②本会が近い(神戸市中央区)  
 ③中央区港町MOTHERのチキン  
 南蛮です。  
 ④美味しいものを食べる、飲む  
 ⑤旅行  
 ⑥・六甲全山縦走完走(2013年)  
 ・神戸マラソン完走(2014年)  
 ・1万人の第九7年連続参加  
 ⑦測量士で生きて行くつもりでしたが、気まぐれで調  
 査士を目指してしまいました。折角なので境界問題  
 のスペシャリストになれる様精進致します。宜しく  
 お願い致します。



尼崎支部  
伏屋 晃久

- ①大阪府  
 ②建築家安藤忠雄の光の教会が徒  
 歩15秒の距離にある(茨木市南  
 春日丘)  
 ③ありません。  
 ④録画してあるNHKの朝の連続  
 テレビ小説を見る事  
 ⑤子供と遊ぶ事  
 ⑥  
 ⑦信頼される調査士になりたいと思っております。



姫路支部  
小松 達也

- ①姫路市  
 ②のどかで住みやすいまちです  
 (姫路市北平野)  
 ③会社の近くにある福ちゃん チ  
 キンカツ定食  
 ④時間がある時に打ちっぱなしに  
 行くこと  
 ⑤ゴルフ  
 ⑥大学野球でベストナインの賞を  
 取りました。  
 ⑦日々勉強し、先輩方に負けない調査士になれるよう  
 頑張ります。



神戸支部  
岩本 考史

- ①神戸市垂水区  
 ②海があって魚が美味しいです  
 (神戸市垂水区)  
 ③もっこすの中華そば  
 ④読書  
 ⑤海沿いを自転車でのんびり走る  
 こと  
 ⑥独身を40まで貫きました(厳密  
 には41までで恐らく42も...)  
 ⑦大阪で11年登録していたんですが、移転を機にまた  
 リフレッシュして頑張ります!

# 会員の動向

平成27年6月30日現在



東播支部  
萬浪 弘三

- ①兵庫県西脇市です
- ②夏の花火がきれいです(小野市)
- ③鳥一松本さん からあげ定食
- ④読書
- ⑤家でのんびり
- ⑥わりとどこでも寝られます
- ⑦誠実に業務を行ない、必要とされる人物になりたいです。



加古川支部  
松岡 博之

- ①福岡県
- ②姫路城 (姫路市)
- ③なし
- ④ゆっくりとテレビが観たいですが…
- ⑤二人の息子と遊ぶ。
- ⑥九州男児であること
- ⑦土地家屋調査士として、皆様のお役に立てるよう、頑張っていきたいと思います。



姫路支部  
城戸 文昭

- ①福岡県
- ②海が近くにあり、自然に恵まれ環境が良く住みやすい所です。
- ③現場でのランチはコンビニ弁当が主になっております。
- ④食事と睡眠
- ⑤目標は家族サービス
- ⑥興味を持ったことに夢中になれる事

⑦幅広い仕事に関わり知識と実務を重ね土地家屋調査士としての仕事を全うしたいと思っています。



加古川支部  
藤本 栄造

- ①兵庫県加古郡稲美町
- ②田園風景の中に溜池が点在するのどかな町 (兵庫県加古郡稲美町)
- ③地元では有名なうどん料理いなみの天ころうどん
- ④ビール!?
- ⑤最近はその下の子供のサッカーの試合を見ること (たまに観戦に出掛ける)
- ⑥海のルアーフィッシングが誰よりも好きなこと (…決して上手くない)
- ⑦若輩につき、諸先輩方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



尼崎支部  
楠原 伸啓

- ①大阪市
- ②歴史がある (堺市堺区)
- ③北新地のキッチンバーZENのランチ
- ④娘と遊ぶ事
- ⑤バス釣り
- ⑥
- ⑦不動産にかかわる方々の取引の安全性と迅速さを重視して業務に励みたい



神戸支部  
齋藤 秋人

- ①兵庫県尼崎市
- ②風向きによっては、甲子園の歓声がきこえる (尼崎市南武庫之荘)
- ③事務所の近くの洋食屋マルヤのBランチ
- ④1人の時間をつくって、ゆっくりする
- ⑤公園でまったりすごす
- ⑥どこでもすぐに眠りにつけます
- ⑦右も左も分らないですが、宜しくお願いいたします。



西播支部  
福浦 真介

- ①兵庫県赤穂市
- ②義士祭がある塩が有名 (赤穂市)
- ③特になし
- ④テレビ
- ⑤子供と遊ぶ
- ⑥特になし
- ⑦頑張ります。



神戸支部  
岸本 邦裕

- ①神戸市須磨区
- ②坂が多いので足が鍛えられます。(神戸市東灘区)
- ③楠公さんの近くにある「たちばな」という店のカキ、エビフライは絶品です。ごはんの量はぜひ大盛りで。
- ④ビールを飲むこと。
- ⑤山登ったり、ダラダラと過ごしたいです。
- ⑥特にないです。
- ⑦土地家屋調査士として皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

## 編集後記

二年前、当時中学三年生の娘が進路選択の参考にとある有名雑誌社の冊子を持って帰ってきました。冊子の中を覗いてみると、将来の職業として同じ法律関係の国家資格が並んでいるにもかかわらず、「土地家屋調査士」の資格名は載っていませんでした。この悔しさが、私が広報部員になったきっかけです。

今年から広報部部長の任を受けたことにより、これまで以上に土地家屋調査士の制度広報活動に積極的なスタンスで取り組んでいきたいと考えています。まず一つ目がこの本会広報誌の内容充実です。紙媒体ならではの特色を考えつつ、新たな企画を新広報部員とともに知恵を絞っていききたいと考えています。会員の皆様からも新企画のアイデアがありましたら是非とも広報部員にお伝えください。

続いて各士業団体が独自に備えている制度広報ツールに対する研究です。いいところはしっかりと吸収し、兵庫県土地家屋調査士会ならではの視点を備えた広報活動の基盤を整備していきたいと考えます。

最後に次世代の若者に向けた制度広報の充実です。私自身、今年度京都会主催の寄付講座へ講師として大学に赴き授業をしてまいりました。この講座を通じて毎年少なくとも100名近くの学生さんが土地家屋調査士の「名前」と「業務内容」を理解してくれています。このような活動は短期的な変化をもたらすことはないでしょうが、地道に続けていくことが実を結んでいくものと思います。現在、兵庫会自身が主催する寄付講座は全く準備できていません。今後は広報部員とともに、自前講座の開設を視野に入れて取り組んでいきたいと思っています。

広報部ではインターンシップ受け入れや、支部の制度広報に対する助成などもおこなっています。支部行事などを通じた制度広報や、業務における土地家屋調査士の真摯な姿勢を通して、すべての会員が制度広報の担い手であると信じ、引き続きご協力をよろしくお願いたします。

(広報部長 中山 敬一)

総会が終わると、本会新メンバーによる活動が始まります。今回は会長選挙もあり、理事をはじめ本会役員の顔ぶれや配置が変わり、岸本会長のもと新たな体制のスタートとなりました。おめでとうございます。

私は、引き続き広報部副部長として、中山部長、佐古井理事とともに2年間力を尽くして参ります。何かと至りませんが、よりよい広報活動ができるようにみんなで協力して頑張ります。よろしくお願いいたします。

新広報部は、各支部の部員さんとの顔合わせも終わり、会報盛夏号の校正作業とともに、新たな1年が始まりました。部員の皆様とこれから2年間、楽しめるようになる広報誌を提供していけるよう努めてまいります。

本会役員になってからは、総会が終わると新学期を迎えるようで、新しいことが始まる期待にワクワクし

ます。総会直後は遅めの春でもリフレッシュな気分ですが、あっという間に7月が来て、気付くと暑い夏になっています。

暑いとだんだん気力が衰えてしまいそうですが、7月は10士業によるワンストップの相談会や、7月31日調査士の日の全国一斉電話相談会等のイベントがあり、8月には恒例の学生インターンシップの行事を行いますので、暑い中でもみんなで頑張っていこうと思います。(インターンシップの受け入れについて、会員の皆様のご協力には、大変感謝しています。有難うございます。)

最後に、各支部の制度広報への取り組みや、本会の広報活動にご意見などございましたら、ご提案いただけますようよろしくお願いいたします。

(広報部副部長 菊田 貴恵)

OAシステム・土木施工/測量CADシステム  
 公共土木・測量委託積算システム  
 測量機器・計測機器・レーザー機器  
 測量用品・設計/製図用紙 他

*system instrument*

*Leica*  
 Geosystems



株式会社リライアンス

〒677-0057

兵庫県西脇市野村町茜が丘36-3

TEL:0795-27-7007 FAX:0795-22-7017

# お知らせ



## 補助者証の更新手続きについて



### 土地家屋調査士補助者証

事務所所在地  
○○○○○○○○

土地家屋調査士氏名 ●● ●●

登録番号 兵庫 第×××号

電話番号 ××××-××-××××

発行日 平成25年1月1日

有効期限 発行日から5年間 発行番号×××番

左の者は当会会員上記土地家屋調査士の  
補助者であることを証する



昭和55年12月31日生

兵庫県土地家屋調査士会

有効期限は発行日から  
5年です！

現在、会で発行している補助者証は左記のタイプです。発行日と有効期限の記載があります。今、ご使用になっている補助者証の日付をご確認下さい。また、以前のタイプの補助者証をお使いの方、有効期限が切れている方は大至急！更新手続きをお願いいたします。手続き方法は下記の通りです。

## 注意事項

1. 本証は業務執行中常に携帯すること。
2. 本証は他人に貸与してはならない。
3. 退職したときは、15日以内に本会に返納すること。
4. 記載事項に変更を生じた場合は、15日以内に本会に提出し訂正を受けること。

兵庫県土地家屋調査士会 電話 078-341-8180



- 有効期限満了の3か月前から交付の請求ができます。
- 今、お使いの補助者証のコピーと写真(3cm×4cm、1枚)を揃えて、事務局までお申し出下さい。
- できあがり次第郵送いたします。(作成にお時間を頂きます)
- 更新手続きに於いて、料金は発生いたしません。



# 第13回 会報 Hyogo に参加してプレゼントを当てよう!!

クイズに挑戦し、答えが分かった方は解答欄にご記入の上、必要事項・アンケートと共に兵庫県土地家屋調査士会事務局までファックスにて送って下さい。締め切りは **8月31日(月)** です。  
 正解者の中から、今回は抽選で「東北の美味しいもの」をプレゼントします。  
 前回は正解者の中から抽選で3名の方に『仙臺牛たん屋 牛たん焼きセット』を発送しました!!



「太陽」のクロスワードです。タテ・ヨコのカギをヒントにパズルを解き、グレーのマスに入った5文字を並べかえてテーマに関係ある言葉にしてください。

1		2	3	4		5	6
			7				8
9	10			11	12		
			13				14
15					16	17	
18			19	20		21	
		22				23	
24				25			

パズル制作・笠見孝子

<b>解答欄</b>							
------------	--	--	--	--	--	--	--

### タテのカギ

- お日様は、この方角からオハヨー
- 太陽神を讃えて、踊りやパレードで熱狂
- 太陽王と呼ばれたフランス○○14世
- ハッパに菊は検事さん。ヒマワリなら?
- 船や飛行機で海外へ
- “○○から目線”ならぬ“○○から紫外線”ね
- 見てごらん、西空が真っ赤だよ
- タヒチで金星の日面通過を観測、英国の○○○船長
- 地球が太陽の周りをぐるーり
- 道路の穴。大阪の吹田市はフタに「太陽の塔」
- 日差しを避けてココ(⇨室外)で過ごす
- 和室のマナーで、床の間を背にした席
- イカロスさん、次は耐熱接着剤でくっつけなよ
- 実家。お盆に○○帰り
- 日焼けしすぎてスルメに!

### ヨコのカギ

- つまり、梅干が太陽ってこと?
- タワー。○○○カムエンジン。○○○ピークス
- 子どもたちが可愛い○○で歌う「手のひらを太陽に」
- 玉陵や○○○城がある沖縄では、太陽=てーだ
- 「太陽拳」や「かめはめ波」を使うアニメの主人公
- 漫画喫茶にもあるプライベートルーム
- “没落”を洗みゆく太陽にたとえて
- 駅伝で、一人が走る地点から地点
- 肌のUVケアを怠った○○が秋に回ってくる?
- レールの材質。炎天下で膨張
- 天女も暑かったのね。「○○の松原」の羽衣伝説
- 帽子と違ってツバがメイン
- 天照大神がココに引きこもり、世界は闇
- 小説も同名の歌もある「陽のあたる○○道」

**締め切り: 8月31日**

前回の解答

マネキネコ

エ	マ		シ	リ	ア	ガ	リ
ビ	リ	ケ	ン		タ	カ	
ス		イ	ネ	ム	リ		タ
		コ	バ	ン		メ	キ
タ	マ		カ	タ		ン	
ノ		タイ	コウ	ボウ			
シ	マ		ネ		ア		シ
ミ	ツ		キ	ゲ	キ		デ

**FAX番号 078-341-8115**

住所 〒

氏名

職業

この会報をどこで見ましたか?

興味があった記事を教えてください

会報にて企画して欲しい事などがあればご自由にお書き下さい。

ありがとうございました。今後の会報編集の参考にさせていただきます。なお、プレゼント当選者の発表は商品の発送にかえさせていただきます。

# 土地家屋調査士 通信教育

# 新 最短合格講座

基礎力養成編 / 受講期間6カ月

毎月1日開講!!  
入学随時!

選べる2タイプ

DVDタイプ  
WMV映像ダウンロードタイプ

短期合格のためには、本試験で問われる最重要項目を、繰り返し何度も学習することが必要です。

本学院では長年にわたる土地家屋調査士講座の指導経験をもとに、初学者が最も効率よく学習できるよう工夫を凝らしたオリジナル教材「択一攻略ノート」と「書式攻略ノート」を作成しました。全く初めて学習をスタートする初学者向け通信教育です。「短期集中プログラム」に基づいた「新・最短合格講座」は、これまでの最短合格講座以上に、豊富な教材群で短期合格をサポートしていきます。



内堀 博夫  
レクチャー 本学院専任講師

## すべては“短期合格”が一番のテーマ

土地家屋調査士は不動産に関する調査、測量を行い、登記所への申請代理を行う資格です。「新・最短合格講座」は土地家屋調査士試験の中でも「午後の部」を対象とした基礎力養成講座となります。

土地家屋調査士資格取得には「条文等の法律知識」と「作図・求積の技術」という2つの面での学習が必要です。試験対策学習においてはこの2面を関連付けることが効果的です。本講座ではオリジナル専用テキスト「攻略ノート」を中心に学習を進め、過去の本試験問題を収録した問題集での演習を通じて知識の確認をします。また、教材には質問票がついていますので疑問点の解決に利用してください。単元ごとの学習の最後には提出課題で習熟度を確認することで、土地家屋調査士試験に向けた知識を網羅することができます。

### ●本学院オリジナルの教材がポイント

学習に使用する教材の選択は、その後の学習計画の全てを左右する大切な部分です。本学院では、受験指導校としての実績をもとに余分な箇所を削り、本当に必要な部分のみで構成した画期的教材「択一攻略ノート」等を一括送付いたします。教材選択時の不安や、時間的ロスをなくした上に、学習進行中や本試験直前の見直しにおいても、かなりの威力を発揮することでしょう。

### ●初学者にも納得できる教材で、確かな理解

土地家屋調査士の業務の対象は「人」。それゆえ土地家屋調査士として依頼された仕事を成功させるためには、暗記ではなく、確かな理解と正確な判断力が要求されます。したがって、本講座では、「納得しながら、効率的、かつ確実に合格を」が指導コンセプトです。

### 《使用教材》



▲土地家屋調査士 新・最短合格講座(通信)教材

- ・学習ガイドブック … 1冊
- ・学習ガイダンスDVD … 1枚
- ・入門 六法の読み方 … 1冊
- ・調査士受験必携六法 … 1冊
- ・平成26年度 調査士本試験問題と詳細解説 … 1冊

- ・テキスト 択一攻略ノート I ~ VII … 7冊
- ・調査士試験に必要な数学 … 1冊
- ・測量・面積計算&図面作成(第4版) … 1冊
- ・テキスト 書式攻略ノート I ~ III … 3冊
- ・新版 択一 過去問マスター-I-II … 各1冊
- ・新版 書式 過去問マスター-I-II … 各1冊
- ・提出課題問題編/解説編 … 全8回分 各1冊
- ・確認テスト問題編/解説編 … 各1冊
- ・解説DVD … 50枚(DVD付タイプ)
- ・解説映像ファイル … 50個(ダウンロードタイプ)
- ・質問票 … 6回分
- ・縮尺定規「すいすい君、すらすらちゃん」… 1組(直角二等辺三角形(2枚)+直定規のセット)
- ・全円分度器 … 1個
- ・関数電卓の基本操作方法/テキスト … 1冊 / DVDまたはWMVファイル … 1巻
- ・補助教材一式

本誌をご覧の方は、  
特別減免学費で  
お申込みできます。



学費(税込) 土地家屋調査士  
新・最短合格講座

基礎力養成編 / DVDタイプ

- 一般学費 272,600円
- 特別減免学費 164,000円

基礎力養成編 /  
映像ダウンロードタイプ

- 一般学費 236,600円
- 特別減免学費 142,000円

高実績と信頼 大人が選ぶ LICENSE SCHOOL ★TEL. 03 (6228) 1453  
★FAX. 03 (3266) 8018  
★HP. <http://www.thg.co.jp>

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22 ナカビル1階



通信教育



メディア通信

資料請求



## 好評図書のご案内

実務を横断的に把握・検討できる！ 関係者必携の一冊



### 境界の理論と実務

實金敏明 著 2009年4月刊 A5判上製 608頁 本体5,700円+税

実務のプロセス・留意点がわかる事例を厳選！



### 筆界特定事例集

東京法務局不動産登記部門地図整備・筆界特定室 編著 2010年11月刊 B5判 284頁 本体2,800円+税

### 筆界特定事例集2

東京法務局不動産登記部門地図整備・筆界特定室 編著 2014年2月刊 B5判 340頁 本体3,400円+税

押さえておくべき知識から希少な事例まで現場での疑問・実例を網羅



新版

### Q&A 表示に関する登記の実務

中村隆・中込敏久 監修 荒堀稔穂 編集代表

#### 第1巻 登記手続総論・土地の表題登記・分筆の登記

2007年1月刊 A5判 560頁 本体4,700円+税

#### 第2巻 合筆登記・地積更正・地目変更・地図訂正

2007年5月刊 A5判 560頁 本体4,800円+税

#### 第3巻 地積測量図・土地の滅失の登記・特殊登記

2007年11月刊 A5判 500頁 本体4,500円+税

#### 第4巻 建物の表題登記・建物の増築の登記

2008年5月刊 A5判 504頁 本体4,500円+税

#### 第5巻 建物の合体・合併・分割の登記、区分建物の登記、 建物の滅失の登記、建物図面関係

2008年12月刊 A5判 640頁 本体5,500円+税

現場での疑問・実例に基づく、166問と20事例を収録！



Q&A 表示に関する登記の実務 特別編

### 筆界特定制度 一問一答と事例解説

筆界特定実務研究会 編著 2008年1月刊 A5判 672頁 本体5,600円+税

ご注文は  
日本加除出版営業部まで

TEL 03-3953-5642

FAX 03-3953-2061

HP <http://www.kajo.co.jp/>



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 <http://www.kajo.co.jp/>  
TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061 (営業部)

(株)神戸清光が、生産性追及のため「プロの測量システム」をご提案します

**TOPCON**

3Dレーザースキャナー

**GLS-2000**

長距離・高速・広範囲  
あらゆる分野で活躍!

**FARO**

3Dレーザースキャナー

**Focus3D**

小型・軽量が特長!  
3Dスキャナーの革命

**Leica**  
Geosystems

ScanStation C10

3Dレーザースキャナー

様々な業務に使用可!  
万能型3Dスキャナー

**SHIMAUCHI ENGINEER**

**Magpie 960**



大規模測量や災害時の調査など、幅広い活躍ができるUAV(無人飛行体)

**Leica**  
Geosystems

次世代UAV **Aibot X6**



**TOPCON**

杭ナビ **LN-100**



簡単に一人で杭打ち  
効率が劇的に向上!

**SOKKIA**

トータルステーション

**SX シリーズ**



自動追尾機能搭載!  
ワンマン計測を実現

**SOKKIA**

GNSS受信機

**GRX2**



測位能力をより向上  
安定した観測を実現

**FUJII COMPUTER**

測量計算CADシステム



フィールドワークから  
オフィスワークまで

目的に応じた機器を  
使いたい時だけ賢く運用

**機械レンタル**

ソキア認定の確かな技術  
高品質のサービスを提供

**機械修理・校正**

24時間 365日営業!  
ポイントもついてお得!

**通販ショップ**

(株)神戸清光は、ソキア製品の販売・修理・メンテナンスに関する関西唯一のパートナー契約店です。



株式会社 **神戸清光** システムインストルメント

■ 測量機器/CAD/GIS/3Dシステム/レンタル

【URL】 <http://www.kobeseiko.co.jp>

【MAIL】 [ksi-info@kobeseiko.co.jp](mailto:ksi-info@kobeseiko.co.jp)

京都営業所 〒615-0057 京都市右京区西院東貝川町 81-4 階

TEL 075-874-1982 FAX 050-3488-4006

但馬営業所 〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1909-9

TEL 079-662-5645 FAX 079-662-5683

本社 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 5-10-9

TEL 078-681-5789 FAX 078-681-8357

大阪支社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-4-64-4 階

TEL 06-6391-4750 FAX 06-6391-4751

淡路営業所・和歌山営業所・滋賀営業所・奈良営業所・修理機材管理センター

日本土地家屋調査士会連合会共済会取扱

# 損害保険ご紹介

数々の危険からあなたをお守りしたい  
桐栄サービスの願いです

## 職業賠償責任保険

会員または補助者が業務遂行にあたり法律上の賠償責任を負い、損害賠償金を支払わなくてはならないときに役立ちます。

## 団体所得補償保険

保険期間中に病気・ケガによって就業不能となった場合、1か月につき補償額をお支払いする制度です。(最長1年間)

## 団体総合生活補償保険

保険期間中、国内外を問わず  
1) 日常生活におけるさまざまな事故によるケガを補償します。  
2) 病気による入院を日帰り入院より補償します。

## 測量機器総合保険

会員が所有し管理する測量機器について業務使用中、携行中、保管中等の偶発の事故を補償します。

## 集団扱自動車保険

会員皆様の自動車はもとより補助者の方のマイカーも加入できます。

## 損害保険代理店 有限会社 桐栄サービス

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-2-10 土地家屋調査士会館6階

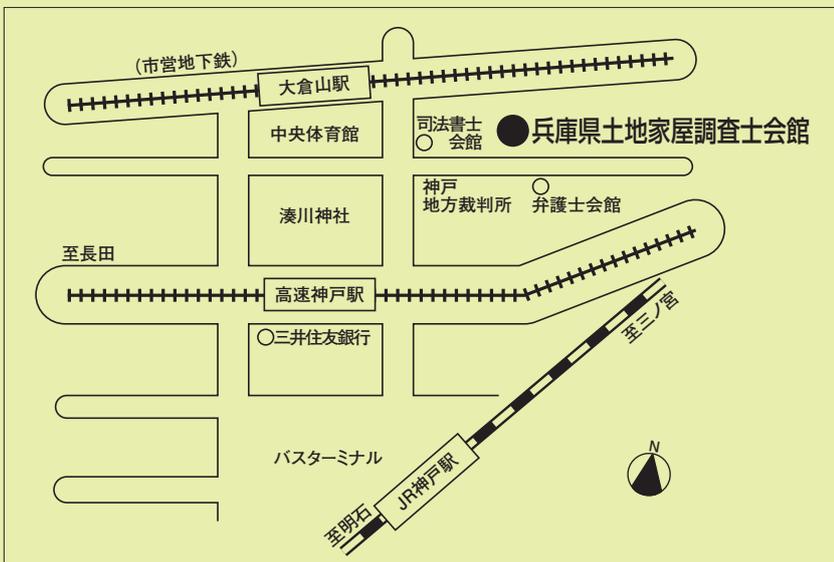
TEL : 03-5282-5166 FAX : 03-5282-5167

上記のものは各種保険の概要をご説明したものです。詳細は弊社までお問い合わせをお願い致します。





日本一  
(阪神支部 宮川 王音会員)



## 兵庫県土地家屋調査士会

〒650-0017

神戸市中央区楠町2丁目1番1号

TEL 078-341-8180

FAX 078-341-8115

E-mail info@chosashi-hyogo.or.jp

発行者 兵庫県土地家屋調査士会  
会長 岸本 八太郎

編集者 兵庫県土地家屋調査士会  
広報部

印刷所 福田印刷工業株式会社  
神戸市東灘区魚崎西町4-6-3  
TEL 078-811-3131  
FAX 078-851-8443